LP-S4200シリーズ
LP-S3500シリーズ

取扱説明書２
ソフトウェア編

ソフトウェアの機能・操作方法など、本機を使用していく上で
必要となる情報を詳しく説明しています。
目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD3990-00

マークの意味

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5.x の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、日本郵政公社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2008 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版

本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Vista と表記しています。また、これらを総称名として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5.x
本書では、各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

Windows での使い方

同梱のソフトウェア CD-ROM には、プリンタドライバなど本機を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『操作編』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。

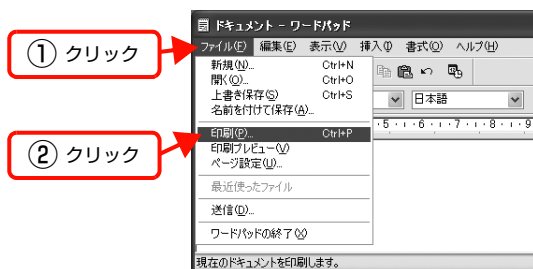
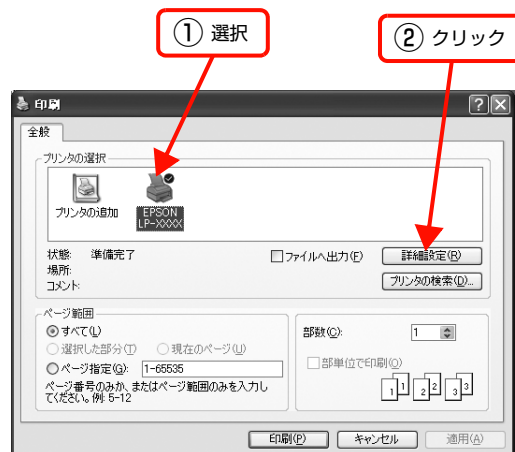
設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の例を説明します。

1 ［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。

2 ［プリンタの選択］で本機を選択して［詳細設定］（Windows 2000 の場合は［プロパティ］）をクリックします。

以上で終了です。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニューからプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定は、アプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定しておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

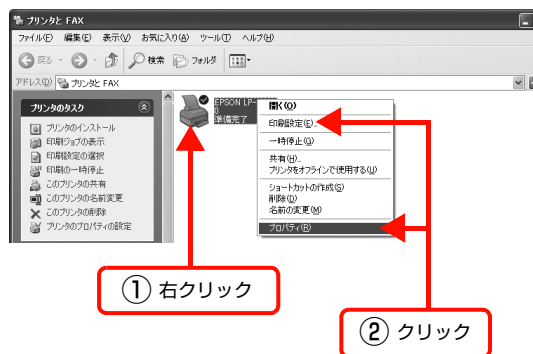
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008:
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003:
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 **本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［印刷設定］または［プロパティ］をクリックします。**

［印刷設定］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

参考
- ［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー以上の権限が必要です。
- Windows 2000/Windows XP で［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。Windows Vista で［印刷設定］を変更するには管理者権限が必要です。

以上で終了です。

設定項目の概要

設定画面の概要を説明します。

設定画面の開き方は以下を参照してください。
☞ 本書 4 ページ「設定画面の開き方」

各設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
☞ 本書 6 ページ「ヘルプの見方」

［基本設定］画面

印刷の基本的な設定をします。

［応用設定］画面

拡大／縮小印刷、印刷品質などを必要に応じて設定します。

［環境設定］画面（印刷設定）

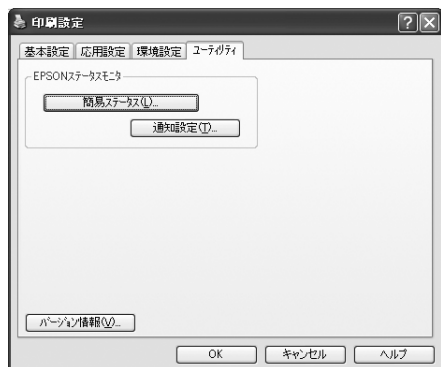
取り付けたオプションの確認ができるほか、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

［環境設定］画面（プリンタのプロパティ）

取り付けたオプションの設定や確認、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

設定画面は、［スタート］メニューからのみ開けます。
☞ 本書 4 ページ「［スタート］メニューから開く」

[ユーティリティ]画面(印刷設定)

EPSON ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の動作に関する設定をします。EPSON ステータスモニタをインストールすると、すべての項目が表示されます。

[ユーティリティ]画面(プリンタのプロパティ)

画面の内容は、「[ユーティリティ] 画面（印刷設定)」と同様です。

設定画面は、[スタート] メニューからのみ開けます。

本書 4 ページ「[スタート] メニューから開く」

ヘルプの見方

プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。ヘルプ画面は以下の３つの方法で開けます。

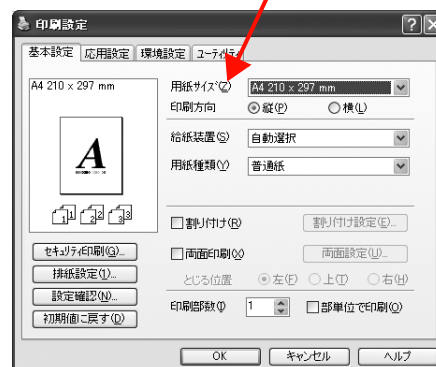
方法１

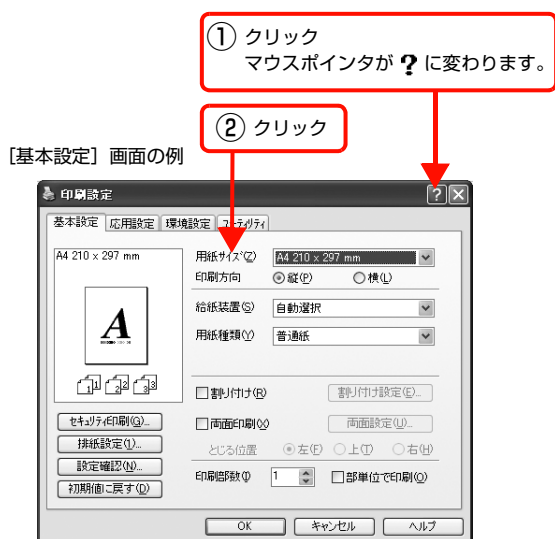
調べたい項目がある画面の［ヘルプ］をクリックします。

［基本設定］画面の例

方法２

調べたい項目の文字の上で右クリックして、表示されたヘルプをクリックします。

［基本設定］画面の例

方法３

?をクリックしてから、調べたい項目の文字の上でクリックします（Windows Vista/Windows Server 2008 は除く）。

プリンタの監視

プリンタのエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピュータ上で確認できます。これは、EPSON ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の機能です。

EPSON ステータスモニタは、『操作編』（冊子）の手順に従ってセットアップするとインストールされます。

使用条件

EPSON ステータスモニタでは、以下の環境で使用しているプリンタの監視ができます。

ローカル接続

コンピュータのインターフェイスが双方向通信に対応していること。

Windows XP/Windows Vista のリモートデスクトップ機能*を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷すると、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

TCP/IP 直接接続

EpsonNet Print または Standard TCP/IP 接続であること。

Windows 共有プリンタ

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、タスクトレイの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていること。
- Windows Vista ではユーザーの簡易切り替え*によって複数のユーザーから同時に共有プリンタを監視することはできません。複数ユーザーで同時に共有プリンタを監視する場合は、EPSON ステータスモニタの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックを付けます。

  * 1 つの OS に、同時に複数のユーザーがログインできる機能。

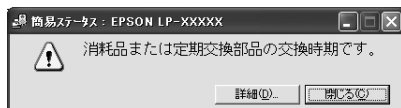
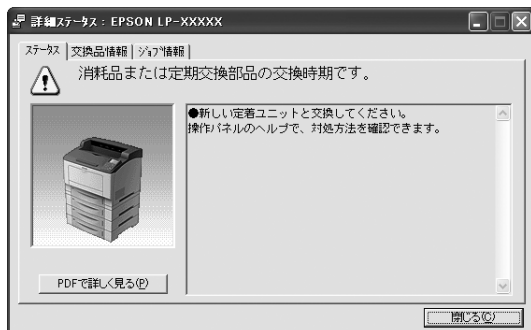
参考

- NetBEUIを使用した直接印刷とIPP印刷では、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ上）で、［共有プリンタを監視させる］をチェックした後でプリンタの接続先を変える場合は、一旦このチェックを外して［OK］をクリックしてから、再度チェックしてください。
- Windows Vista の［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックすると、Windows Vista のユーザーアカウント制御により、プログラムの実行を許可する確認画面が表示されます。
  確認画面では、［続行］をクリックしてください。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

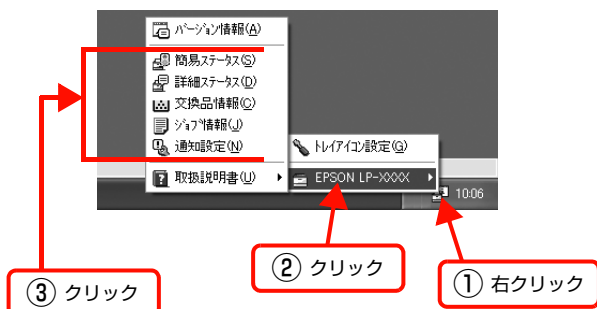
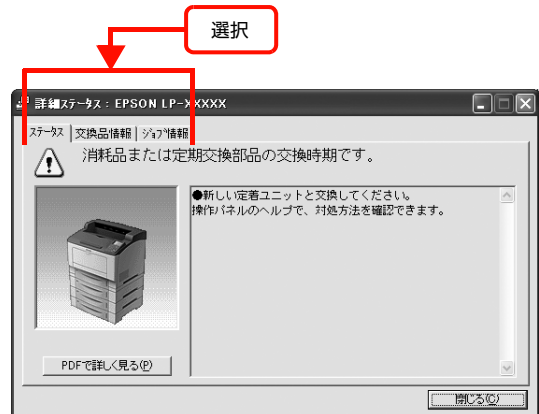
エラーが解消されると、画面は自動的に閉じます。

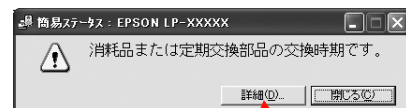
［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

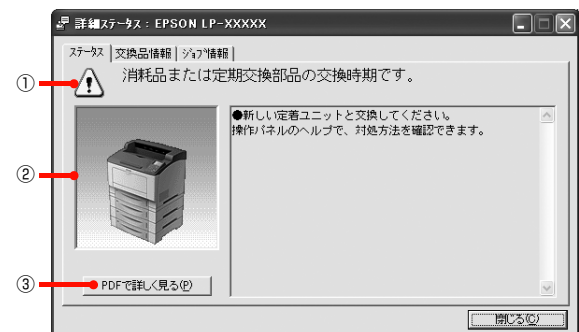
［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンタの状態が確認できます。

画面の開き方は以下の通りです。

タスクトレイから本機を選択し、［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］を選択します。

［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］は、タブをクリックして切り替えることもできます。

各画面の概要

［簡易ステータス］画面

プリンタの状態を示すメッセージが表示されます。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストが表示されます。エラーが発生すると、対処方法が表示されます。

③[PDF で詳しく見る]ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや交換品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

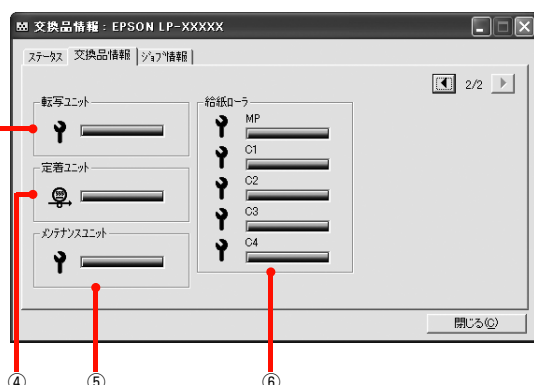
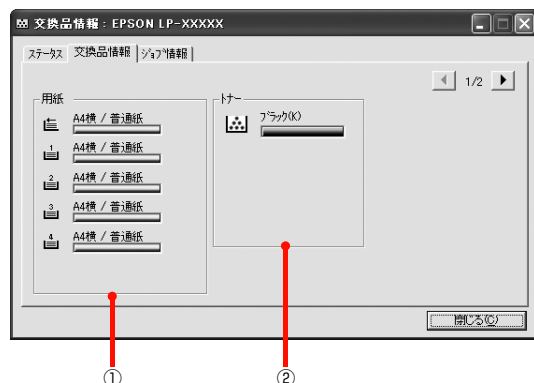
［通知設定］画面の［取扱説明書（PDF）を参照する］のチェックが外れているときは表示されません。

本書 10 ページ「監視・通知の設定」

！重要

Adobe Reader のインストール直後は、このボタンから Adobe Reader を起動できません。あらかじめ Windows の［プログラム］または［すべてのプログラム］から Adobe Reader を起動して、使用許諾契約書に同意してからお使いください。

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン［◀］/［▶］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

②トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

③転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

④定着ユニット

定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑤メンテナンスユニット

メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥給紙ローラ

給紙ローラの寿命の目安を表示します。給紙ローラに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

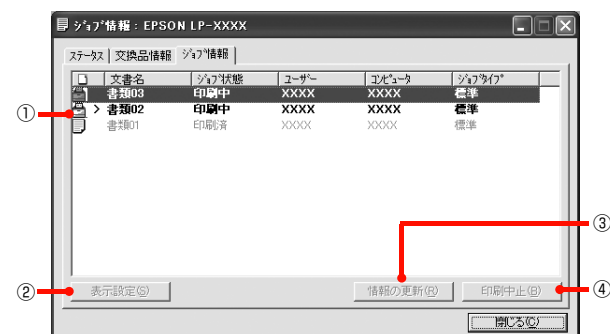
ネットワーク環境で印刷中またはプリンタで処理中のジョブの状態が表示されます。

TCP/IP 接続のネットワーク環境で、かつ以下の条件を満たすときに使用できます。

- プリントサーバを介した共有設定

プリントサーバの OS	Windows 2000/ Windows Server 2003/ Windows Vista/ Windows Server 2008
クライアントの OS	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Vista
プリンタとプリントサーバの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

- プリントサーバを介さないネットワーク接続

クライアントの OS	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Vista
プリンタとクライアントの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

①ジョブリスト

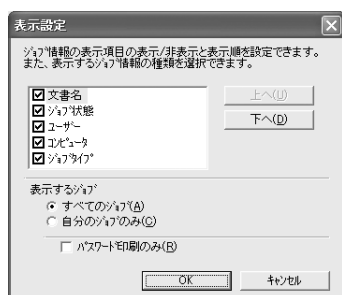
コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブでは、以下の情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

②[表示設定]ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。また、項目を選択してから［上へ］/［下へ］をクリックすると、ジョブリスト内での表示順序が変更できます。

③[情報の更新]ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

④[印刷中止]ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

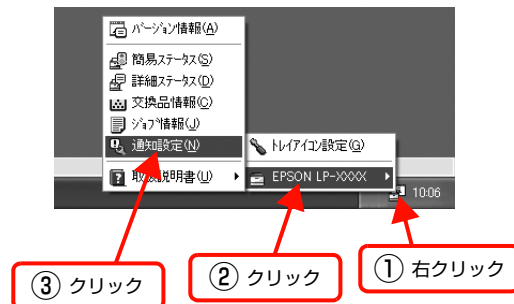
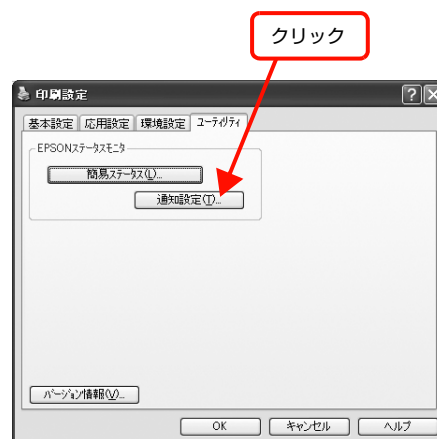
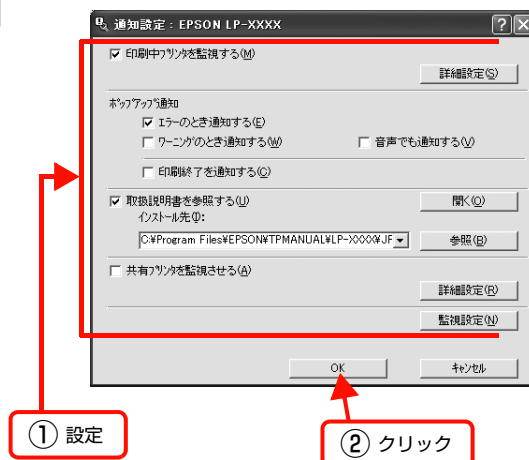
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視･通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

1 タスクトレイまたはプリンタドライバの［ユーティリティ］画面から［通知設定］画面を開きます。

タスクトレイから開く場合

プリンタドライバから開く場合

2 必要な項目を設定します。

設定項目の詳細は、画面のヘルプを参照してください。

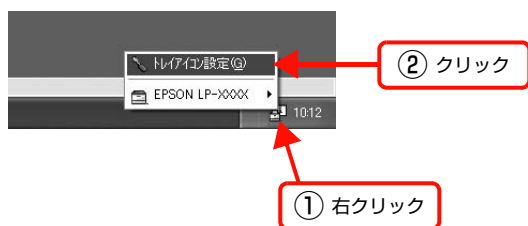
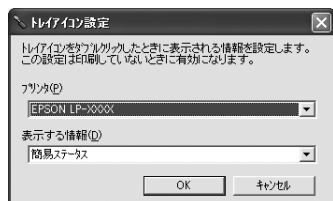
本書 6 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

トレイアイコンの設定

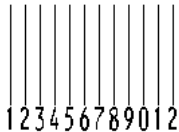
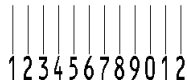
タスクトレイにある EPSON ステータスモニタのアイコンを、印刷していない状態でダブルクリックしたとき、どのプリンタの何を表示するか設定します。印刷しているときは、印刷中のプリンタの簡易ステータスが表示されます。

設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイの EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［トレイアイコン設定］をクリックします。**

2 **［トレイアイコン設定］画面で、［プリンタ］と［表示する情報］を選択します。**

以上で終了です。

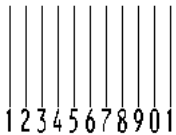
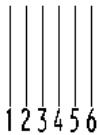
バーコードフォントの使い方

同梱のソフトウェア CD-ROM には、Epson バーコードフォントが収録されています。Epson バーコードフォントは、データキャラクタ（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクタ以外のコードやマージン、OCR-B フォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

インストール方法は以下を参照してください。

本書 25 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

バーコードフォントの種類

Epson バーコードフォントの種類は以下の通りです。

各バーコードの仕様や規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

フォント名		Epson JAN-13	Epson JAN-13 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		12	
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	123456789012	
	画面表示	123456789012	123456789012
	印刷	1 234567 890128	1 234567 890128
備考		JIS X 0501	• JAN-13 のバーの高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

JAN(短縮バージョン)

フォント名		Epson JAN-8	Epson JAN-8 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		7	
入力可能サイズ		52 ～ 96pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		52pt、65pt（標準）	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示	1234567	1234567
	印刷	1234 5670	1234 5670
備考		－	• JAN-8 のバー高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名		Epson UPC-A	Epson UPC-E
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		11	6
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示		
	印刷		
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な 0 を削除）

Code39

フォント名	Epson Code39	Epson Code39 CD	Epson Code39 Num	Epson Code39 CD Num
OCR-B	なし		あり	
チェックデジット	なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類	英数字（A ～ Z、0 ～ 9）、記号（－　.　スペース　$　/　+　%）			
桁数	制限なし			
入力可能サイズ	26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ	26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）	• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • チェックデジット			
例　入力	1234567			
例　画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
例　印刷			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 S
備考	• JIS X 0503 • スペースを表すバーコードを入力したいときは、「＿」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

フォント名		Epson CODE128
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		全ての ASCII 文字（95 文字）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		26 ～ 96pt
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	1234567
	画面表示	1234567
	印刷	
備考		• JIS X 0504 • コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。

Interleaved 2 of 5

フォント名		Epson ITF	Epson ITF CD	Epson ITF Num	Epson ITF CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • チェックデジット • 文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例	入力	1234567			
	画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
	印刷			01234567	12345670
備考		キャラクタを２個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、Epson バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

フォント名		Epson NW-7	Epson NW-7 CD	Epson NW-7 Num	Epson NW-7 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0～9）、記号（−　$　:　/　.　+）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96pt		36～96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合） • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1234567	1234567
	印刷			A 1 2 3 4 5 6 7 A	A 1 2 3 4 5 6 7 4 A
備考		• JIS X 0503 • スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。			

郵便番号（カスタマバーコード）

フォントー名		
フォント名		Epson J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）、英文字（A ～ Z）、記号（－）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8 ～ 11.5pt
読み取り保証サイズ		8pt、9pt、10pt、11.5pt
自動設定される情報（入力不要）		• バーコードの上下左右 2mm の空白 • 入力時の－（ハイフン）の削除 • スタート / ストップコード • 住所表示番号の 13 桁調整 • チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 – 4 5 6 7
	印刷	
備考		• 郵便番号（3桁）－郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードが挿入されます。 • 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

EAN128

フォント名		Epson EAN128
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートが、入力は小文字で行います。
桁数		アプリケーション識別子 (AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 　　4桁「(01)」＋ 13 桁（数字） 17：パッチ / ロットナンパー 　　4桁「(17)」＋6桁（数字） 10：保証期限日 　　4桁「(10)」＋最大 20 桁（英数字） 30：数量 　　4桁「(30)」＋最大８桁（数字）
入力可能サイズ		36pt 以上
読み取り保証サイズ		36pt、72pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
	印刷	(01)14912345678901(17)990101(30)12(10)ABC
備考		コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

フォント名		Epson EAN128_A191
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）、記号（－） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレータとして使用します。
桁数		４桁「(91)」＋ 46 桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ		48pt 以上
読み取り保証サイズ		48pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ（Code128 との識別のために挿入します。） • チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	印刷	(91)912345-012345678901234567890 1 010331-0-123000-3
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

データ作成時のご注意

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
  例）文字間隔の自動調整
  行末に存在するスペース削除
  連続する複数個のスペースをタブなどに変換
  記号の変換
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に2つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の 15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/EAN128）
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

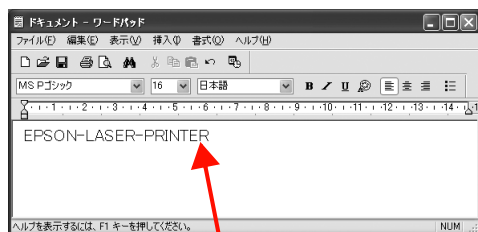
印刷時のご注意

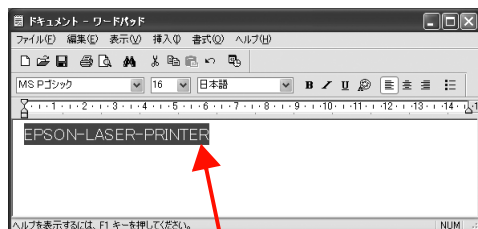
- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- Epson バーコードフォントは、本機に同梱されているプリンタドライバでのみ印刷可能です。
- プリンタドライバで、以下の通り設定してください。

画面	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定（応用設定－詳細設定）	印刷品質	きれい（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

バーコード作成 / 印刷の手順

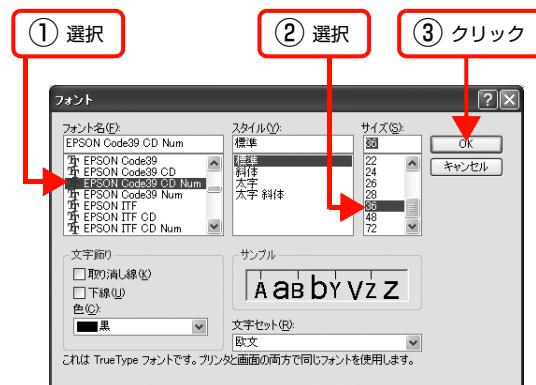
ここでは Windows XP のワードパッドを例に、Epson バーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1Byte）で入力します。**

2 **入力した文字を選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3 **［書式］—［フォント］の順にクリックします。**

4 **［フォント］の一覧から印刷したい Epson バーコードフォントを選択し、［サイズ］を選択して［OK］をクリックします。**

推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。

☞ 本書 12 ページ「バーコードフォントの種類」

参考

アプリケーションソフトによっては、フォント名をそのフォント自体で表示することがあります。

5 **入力した文字が、図のように表示されます。**

6 **印刷を実行します。**

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

以上で終了です。

プリンタドライバの［拡張設定］画面で［バーコードモード］にチェックを付けることで、バーコードがより鮮明に印刷できます。設定方法の詳細は以下のページを参照してください。

☞ 本書 62 ページ「バーコードを鮮明に印刷（バーコードモード）」

TrueType フォントの使い方

同梱のソフトウェア CD-ROM には、Epson TrueType フォントと OCR-B* TrueType フォントが収録されています。インストールすると、アプリケーションソフトで使用できる書体が追加され、より表現豊かな文書を作成することができます。

* 光学的文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001 に規定された書体の名称。

インストール方法は以下を参照してください。

本書 25 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

ソフトウェア CD-ROM に収録されているフォントは以下の通りです。

Epson TrueType フォント

フォント名	印刷例
Epson 行書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 教科書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 正楷書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 丸ゴシック体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太角ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太明朝体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太行書体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
Epson 太丸ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

ソフトウェア CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B の規格外の文字も含まれています。

読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。

ソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピュータを再起動してからインストールしてください。

☞ 本書 26 ページ「ソフトウェアの削除」

1 Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。

Windows Vista/Windows Server 2008:

① [自動再生] 画面の [プログラムのインストール / 実行] を、発行元が SEIKO Epson であることを確認してからクリックします。

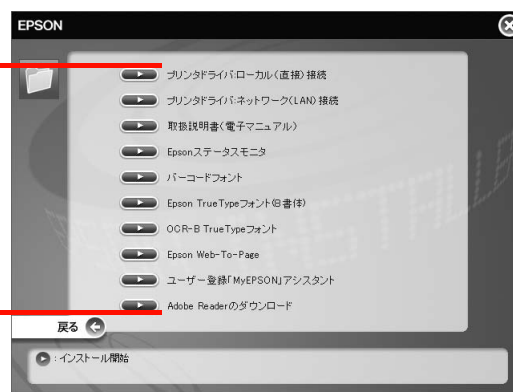
② [ユーザーアカウント制御] 画面で [続行] をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 以外:

2 に進みます。

2 お使いの機種を選択します。

3 [カスタムインストール] をクリックします。

4 インストールするソフトウェアの [▶] をクリックします。

5 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に [完了] をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

!重要
- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。
- 削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

Windows XP/Windows Server 2003/
Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 ［プログラムのアンインストール］/［プログラムの追加と削除］/［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

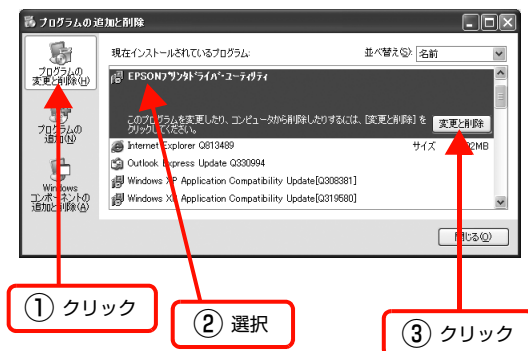
Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

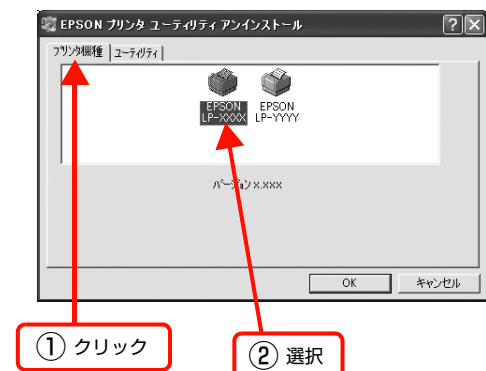
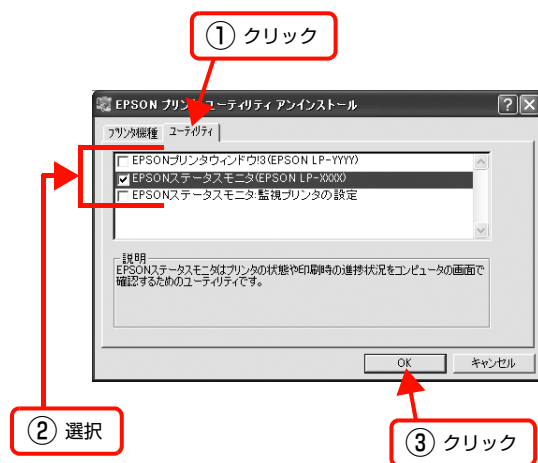
4 削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］/［変更と削除］をクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008：
削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］をクリックします。

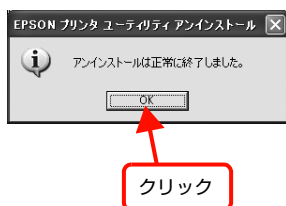
Windows 2000/Windows XP/
Windows Server 2003：
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから削除するソフトウェアを選択し［変更と削除］をクリックします。

<例> Windows XP の場合

- ［Epson プリンタドライバ･ユーティリティ］を選択すると、プリンタドライバと EPSON ステータスモニタを削除します。5 に進んでください。
- その他のソフトウェアを削除する場合は 7 に進んでください。

5 ［プリンタ機種］タブをクリックし、本機のアイコンを選択します。

ここで選択した機種のプリンタドライバが削除されます。プリンタドライバを削除したくないときは、何も選択していない状態にしてください。

6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、削除するソフトウェアを選択して［OK］をクリックします。**

7 **画面の指示に従って作業を進めます。**

8 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

☞『操作編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

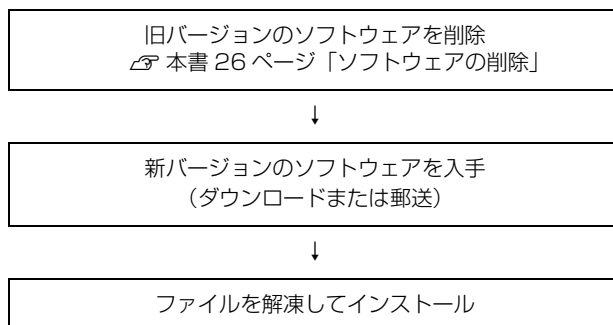
ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除 ☞ 本書 26 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手 （ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

Mac OS X での使い方

同梱のソフトウェア CD-ROM には、プリンタドライバなど本機を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『操作編』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。用紙や印刷の設定をする前に、[プリンタ設定ユーティリティ] または [システム環境設定] − [プリントとファクス] で本機を選択してください。セットアップ時に選択してから変更していなければ、再選択する必要はありません。

☞『操作編』（冊子）―「コンピュータの接続と設定」

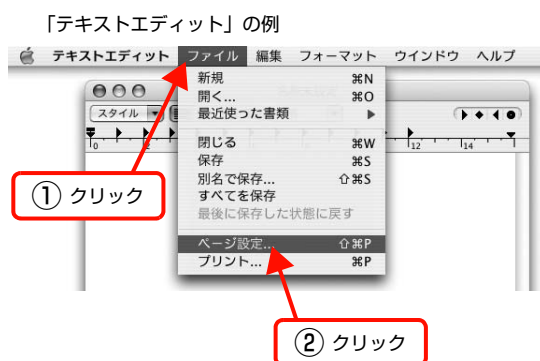
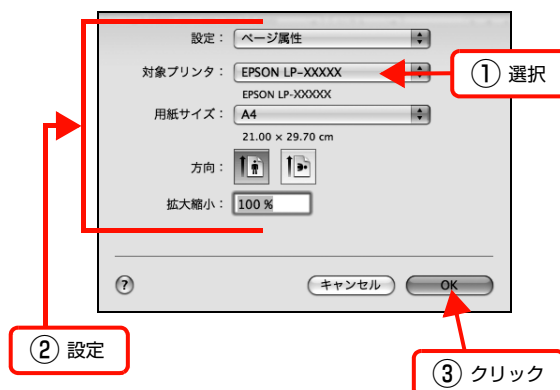
ページ設定

アプリケーションソフトで印刷データを作成するときに、プリンタドライバの [ページ設定] 画面で、用紙サイズなどを設定します。

参考

Mac OS X v10.5.x は、アプリケーションによっては [ページ設定] 画面が表示されません。その場合は、[プリント] 画面で設定してください。

1 **[ファイル] メニューから [ページ設定] を選択します。**
アプリケーションソフトによってメニュー名が異なります。

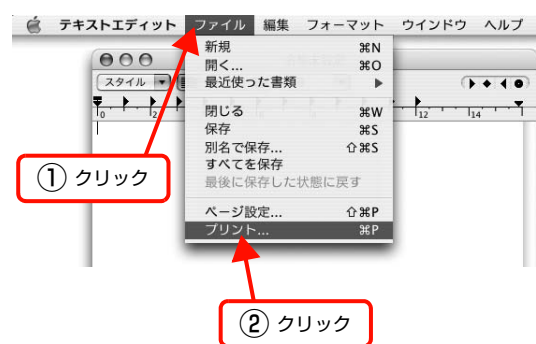
「テキストエディット」の例

2 **[対象プリンタ] から本機を選択して必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。**

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

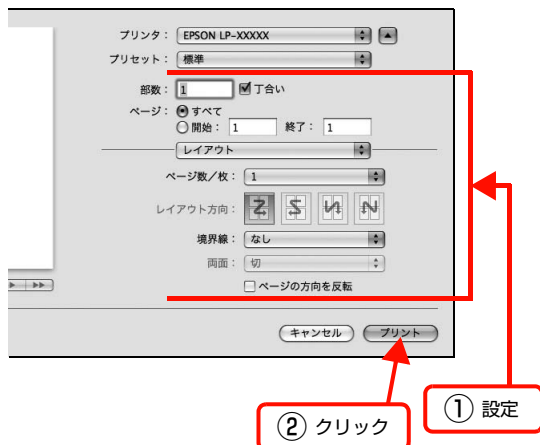
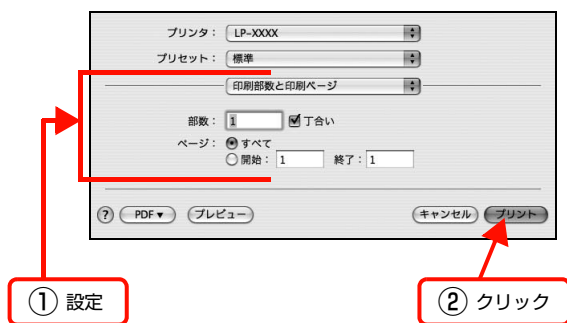
☞ 本書 29 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

プリント設定

作成したデータを印刷するときは、[プリント] 画面で印刷関連の設定をします。

1 **[ファイル] メニューから [プリント] を選択します。**

2 **必要な項目を設定し、［プリント］をクリックします。**
印刷が実行されます。
アプリケーションによっては、独自の設定画面を表示するものもあります。

Mac OS X v10.5.x:

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x:

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
☞ 本書 29 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

ヘルプの見方

プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。

調べたい項目がある画面の ? をクリックすると、ヘルプが表示されます。

［プリント］画面の例

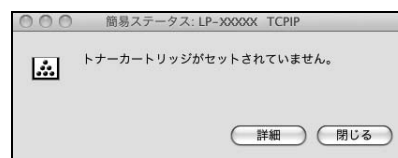
プリンタの監視

プリンタの状態（エラーや消耗品の残量、印刷の進行状況など）がコンピュータ上で確認できます。これは、プリンタドライバとともにインストールされる EPSON ステータスモニタの機能です。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

エラーが解消されると、［簡易ステータス］画面は自動的に閉じます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンタの状態が確認できます。
各画面の開き方は以下の 2 通りあります。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x は、［プリンタ設定ユーティリティ］で本機を追加した後は、一度印刷設定画面を開いてください。印刷設定画面を開くと、プリンタ情報の取得を開始します。

方法 1

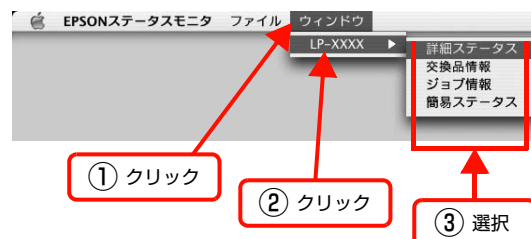
1 **Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。**

［プリンタ設定ユーティリティ］で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

Mac OS X v10.4.x ～ v10.5.x では、プリンタドライバをインストール後、再ログインまたは OS を再起動するとアイコンが表示されます。

2 **［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］画面を切り替えます。**

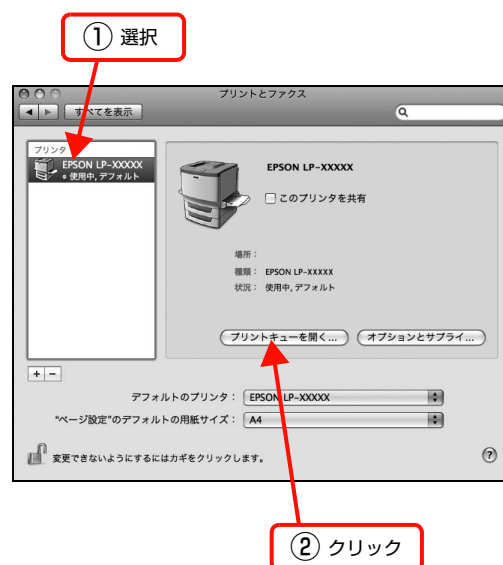
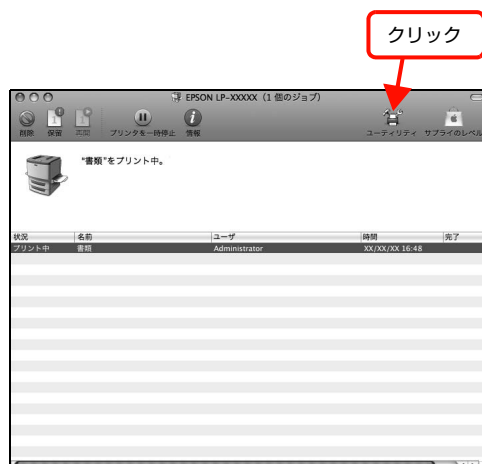
- クリックして画面を切り替えます。

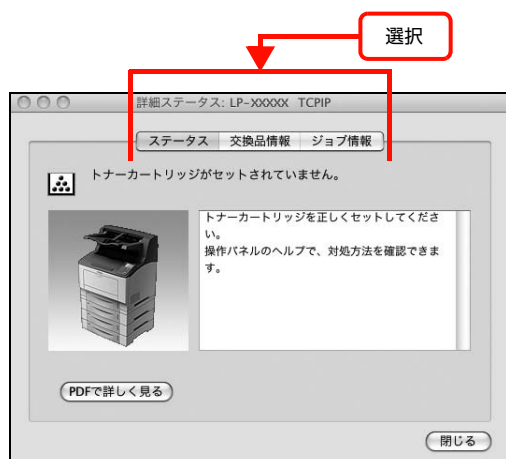
- ［ウィンドウ］メニューで本機を選択してから、表示したいメニューを選択します。

［簡易ステータス］が画面上に表示されていないとき、メニューから［簡易ステータス］はグレーアウトし、選択できません。

以上で終了です。

方法 2

Mac OS X v10.5.x：

1 **［システム環境設定］－［プリントとファクス］から本機を選択し、［プリントキューを開く］をクリックします。**

2 プリントキュー画面上の[ユーティリティ]をクリックします。

3 [ステータス]、[交換情報]、[ジョブ情報] のいずれかを選択して切り替えます。

クリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

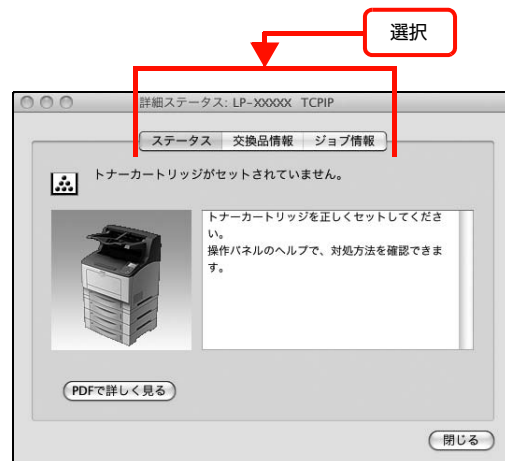
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x:

1 [プリンタ設定ユーティリティ] の [プリンタリスト] から本機を選択し、[ユーティリティ] をクリックします。

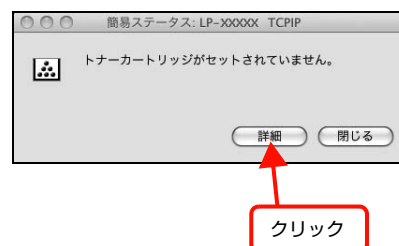
プリンタ登録直後は起動しない場合があります。そのときは一度 [印刷] 画面を開く必要があります。

本機を Bonjour 接続している場合は、[プリンタリスト] 画面の [ユーティリティ] をクリックしても、EPSON ステータスモニタは起動しません(Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します)。Dock から EPSON ステータスモニタを起動してください。

2 [ステータス]、[交換品情報]、[ジョブ情報] のいずれかを選択して画面を切り替えます。

クリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

各画面の概要

[簡易ステータス]画面

プリンタの状態を示すメッセージが表示されます。[詳細]をクリックすると[詳細ステータス]画面が表示されます。

[詳細ステータス]画面

プリンタの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストを表示します。エラーが発生したときは、対処方法を表示します。

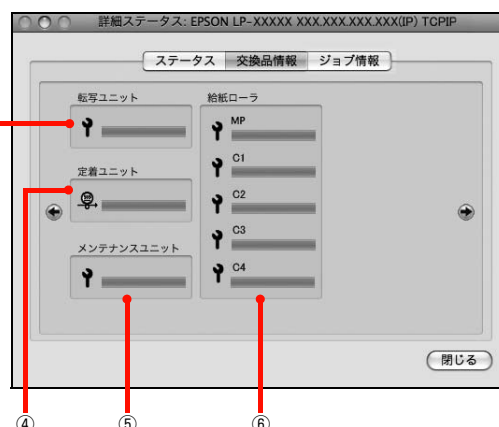
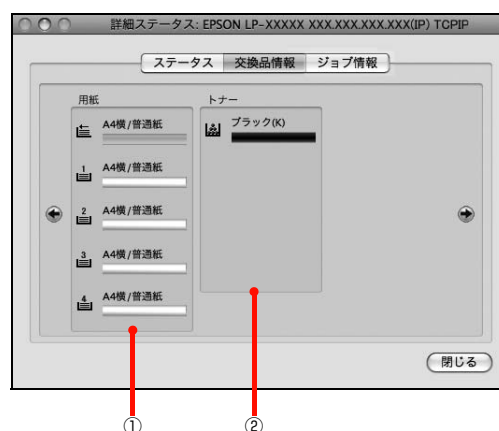
③[PDF で詳しく見る]ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや交換品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

[通知設定］画面の［取扱説明書を参照する］のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 33 ページ「監視・通知の設定」

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面内の表示切り替えボタン［ ］/［ ］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

②トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

③転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

④定着ユニット

定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑤メンテナンスユニット

メンテナンスユニットの寿命の目安を表示します。メンテナンスユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥給紙ローラ

給紙ローラの寿命の目安を表示します。給紙ローラに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

ネットワーク環境で印刷中またはプリンタで処理中のジョブの状態が表示されます。

プリントサーバを介さないネットワーク接続（Bonjour、Epson TCP/IP、Epson AppleTalk による接続）の場合に使用できます。

①ジョブリスト

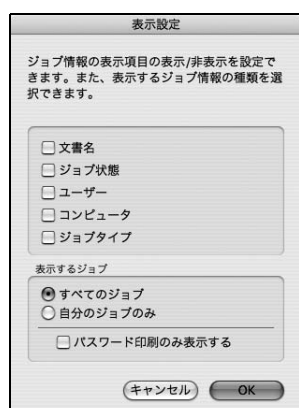
コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

②[表示設定]ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。

③[情報の更新]ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

④[印刷中止]ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、[印刷中止] をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視・通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

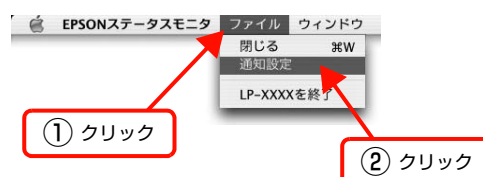
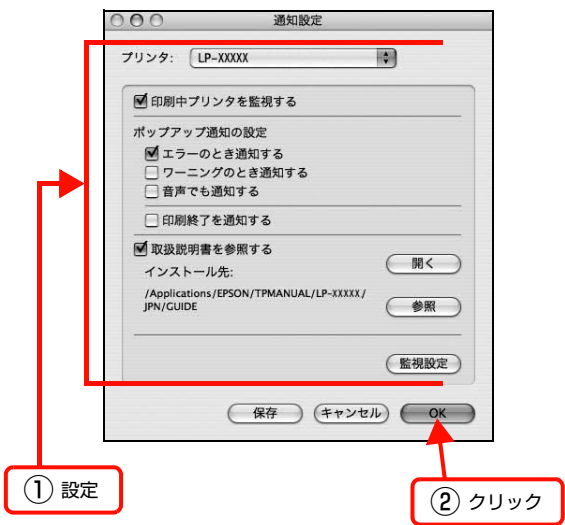
1 Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。

Mac OS X v10.5.x:
[プリントとファクス] の [デフォルトのプリンタ] で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

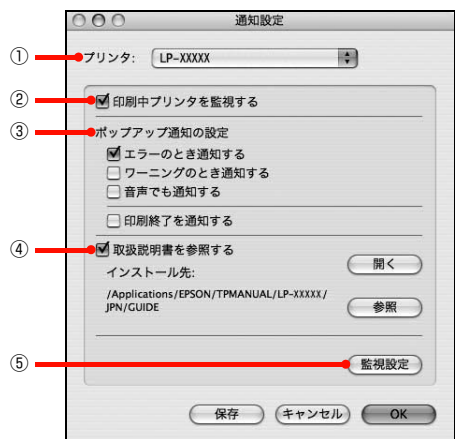
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x:
[プリンタ設定ユーティリティ] で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

2 EPSON ステータスモニタの[ファイル]メニューから [通知設定] をクリックします。

3 **必要な項目を設定します。**

① 設定
② クリック

設定項目の詳細は以下を参照してください。
☞ 本書 34 ページ「[通知設定］画面」

以上で終了です。

[通知設定]画面

①プリンタ

複数プリンタを監視しているときに、設定を行うプリンタを切り替えます。

②印刷中プリンタを監視する

印刷中にプリンタを監視します。

③ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］画面で知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると以下の画面を表示して通知します。 ジョブ管理機能をサポートしていない環境ではグレーアウトして設定できません。

④取扱説明書を参照する

トラブル発生時に表示する取扱説明書（電子マニュアル）に関する設定をします。チェックすると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに［詳細ステータス］画面の［ステータス］タブに［PDF で詳しく見る］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。チェックを外すと、［PDF で詳しく見る］ボタンは表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、取扱説明書（電子マニュアル）の先頭ページを表示します。
［インストール先：］	取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている場所を表示します。
［参照］	取扱説明書（電子マニュアル）をインストールしたフォルダを選択できます。インストール先を変更したり、ネットワーク環境でサーバにインストールした取扱説明書（電子マニュアル）を参照するときなどは、該当のフォルダを選択してください。

⑤［監視設定］ボタン

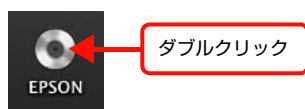
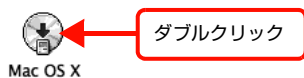
［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

ソフトウェアを選択してインストール

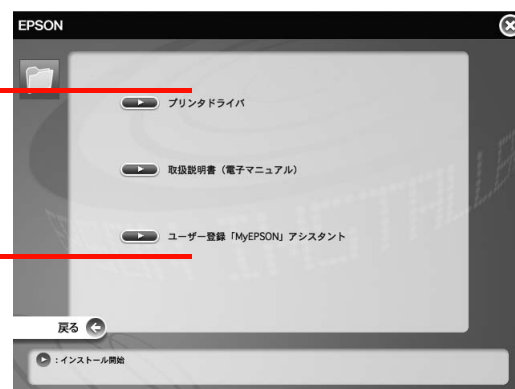
セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除してからインストールをし、[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] で本機を選択し直してください。

☞ 本書 36 ページ「ソフトウェアの削除」

1 **Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。**

2 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

3 **お使いの機種を選択します。**

4 **［カスタムインストール］をクリックします。**

5 **インストールするソフトウェアの［ ］をダブルクリックします。**

6 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

!重要
ソフトウェアの削除は管理者権限をお持ちの方が行ってください。

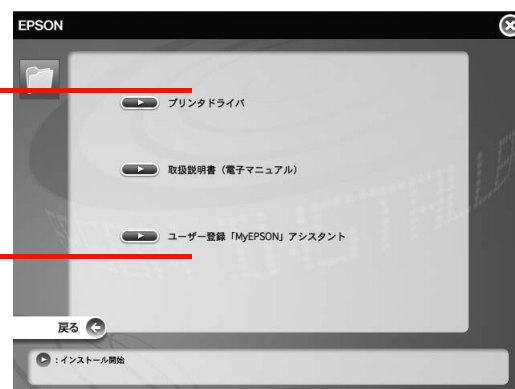
1 **起動しているアプリケーションソフトを終了します。**

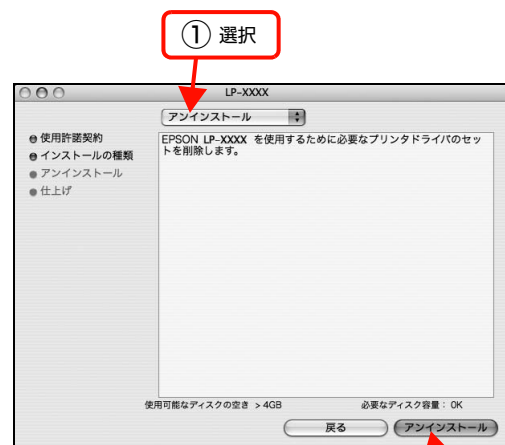
2 **Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［Epson］のアイコンをダブルクリックします。**

3 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

4 **お使いの機種を選択します。**

5 **［カスタムインストール］をクリックします。**

6 **アンインストールするソフトウェアの［ ］をダブルクリックします。**

7 **画面の指示に従って進みます。**

8 **以下の画面が表示されたら、メニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。**

9 **画面の指示に従ってアンインストール作業を進めます。**

最後に［終了］をクリックしてアンインストールを終了します。

プリンタドライバ以外の場合はこれで終了です。
プリンタドライバの場合は 9 へ進んでください。

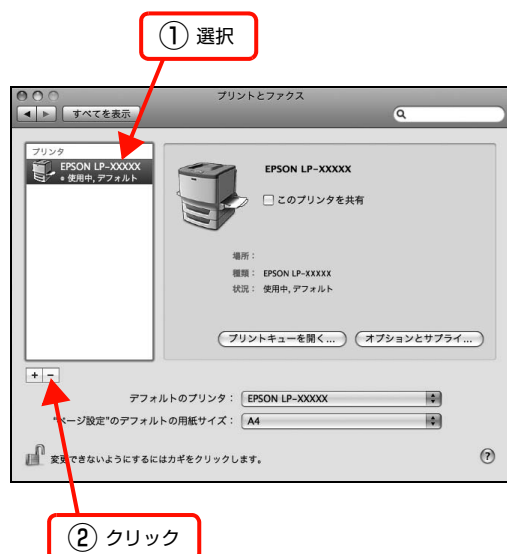
10 **ハードディスクアイコンをダブルクリックします。**

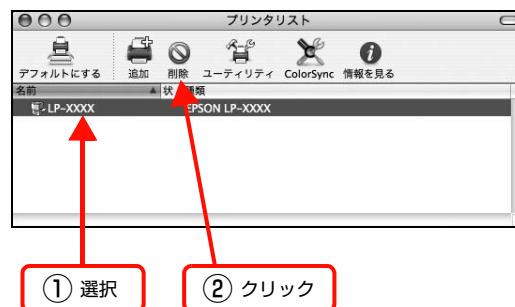
11 **［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］を開きます。**

Mac OS X v10.5.x：
［アプリケーション］－［システム環境設定］から［プリントとファクス］を開きます。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

12 **プリンタを削除します。**

Mac OS X v10.5.x：
プリンタを選択して、［－］をクリックします。

［OK］をクリックしたら、画面を閉じます。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
プリンタを選択して、［削除］をクリックします。

［削除］をクリックしたら、画面を閉じます。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

『操作編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除 本書 36 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手 （ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

便利な印刷機能

本機のプリンタドライバで設定できる、便利な機能をご紹介します。
Windows の設定画面を例に説明します。

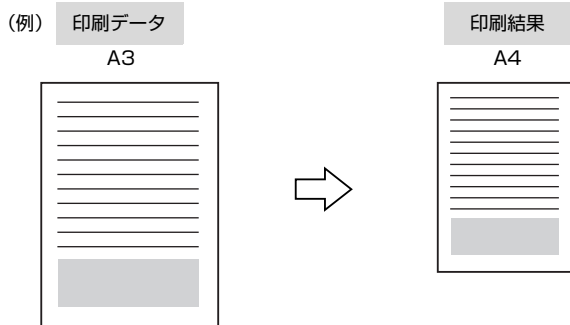
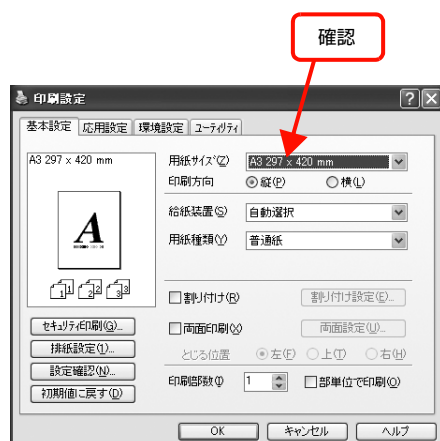
☞ 本書 39 ページ「拡大 / 縮小」
☞ 本書 40 ページ「複数ページを 1 ページに割り付け」
☞ 本書 42 ページ「両面印刷」
☞ 本書 43 ページ「製本印刷」
☞ 本書 47 ページ「原本とコピーの区別（透かし印刷）」
☞ 本書 51 ページ「背景に文字や画像を印刷（スタンプマーク）」
☞ 本書 56 ページ「ヘッダー / フッター印刷」
☞ 本書 57 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」
☞ 本書 61 ページ「排紙設定」
☞ 本書 62 ページ「バーコードを鮮明に印刷（バーコードモード）」

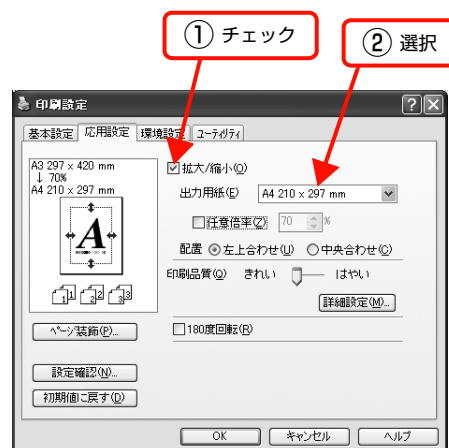
拡大 / 縮小

プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、アプリケーションソフトで作成したデータのサイズと異なるサイズで印刷できます。印刷したい用紙のサイズを指定するだけで、用紙の大きさに合わせて自動的に拡大 / 縮小します。また、拡大 / 縮小率を任意に設定することもできます。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］が［A3］になっていることを確認します。

2 ［応用設定］画面で、［拡大 / 縮小］をチェックして［出力用紙］から［A4］を選択します。

- ［配置］は、縦横比の違うサイズに拡大 / 縮小する際に設定してください。A3 から A4 など、縦横比が同じ場合は、どちらを選択しても印刷結果は同じです。
- ［任意倍率］をチェックすると、任意の倍率が指定できます。チェックしなければ、用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されます。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

複数ページを１ページに割り付け

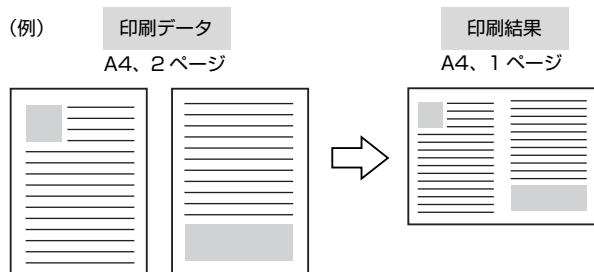
プリンタドライバの［割り付け印刷］機能を使用すると、２ページまたは４ページを１ページに割り付けて印刷できます。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

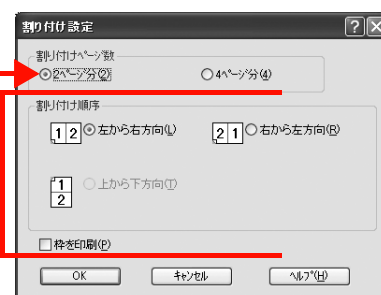
Windows：本書４ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

２ページ割り付け

２ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

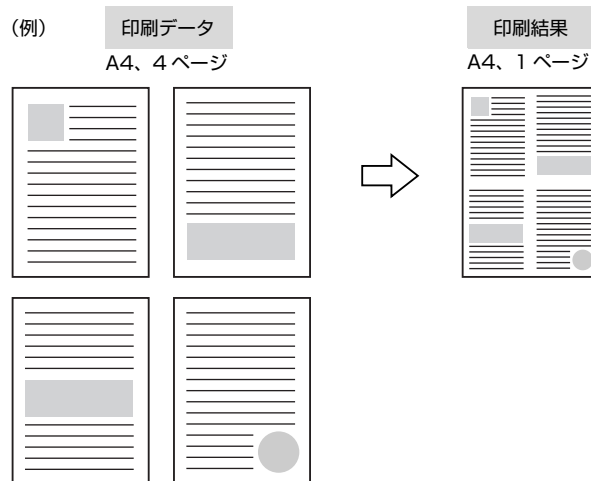
以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。

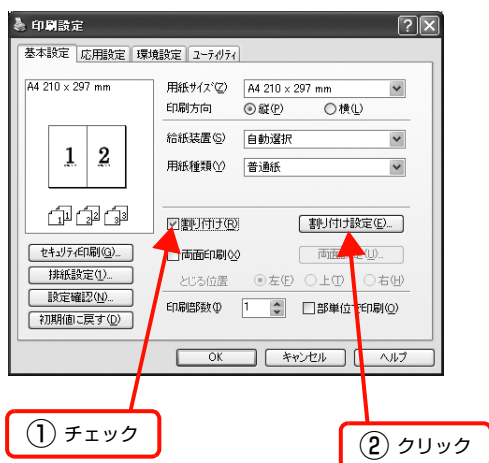
2 ［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［２ページ分］を選択します。

必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

４ページ割り付け

４ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。

2 ［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［4 ページ分］を選択します。

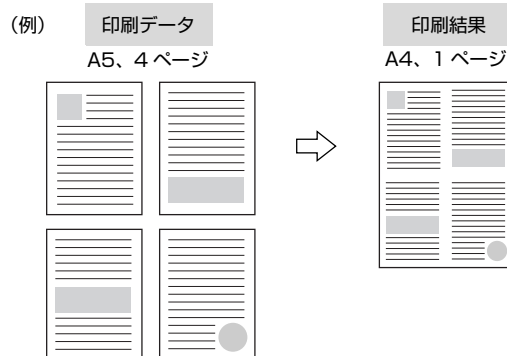
必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

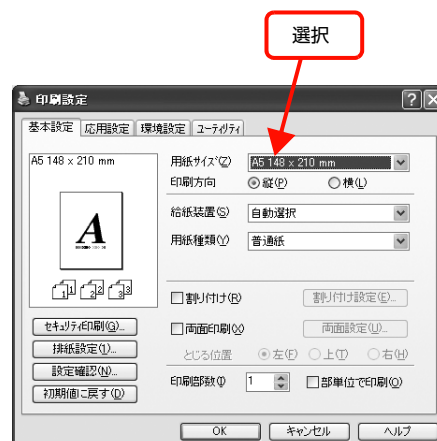
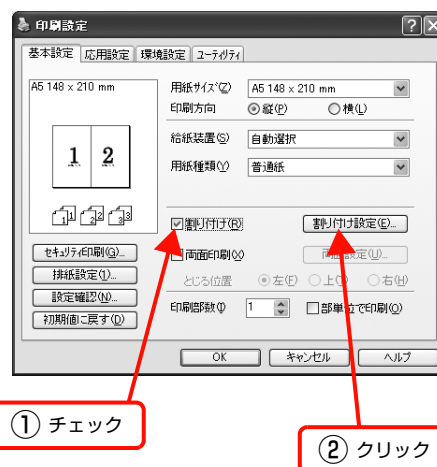
3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

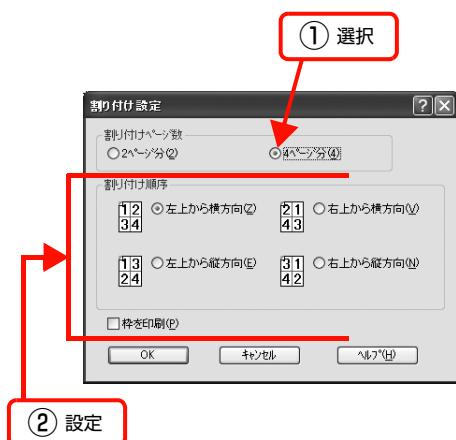
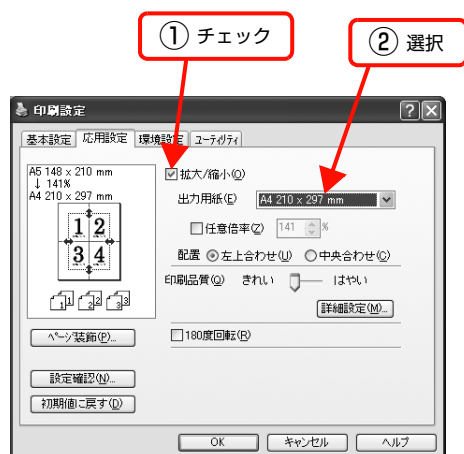
以上で終了です。

出力用紙サイズを指定

［拡大 / 縮小］機能を併用すると、印刷する用紙サイズを自由に設定できます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A5］を選択します。

ここでは、印刷データの用紙サイズを設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。

3 **[割り付け設定] 画面の [割り付けページ数] で、[4ページ分] を選択します。**

必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

4 **[応用設定] 画面で [拡大 / 縮小] をチェックし、[出力用紙] から [A4] を選択します。**

5 **[OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着（LP-S4200 は標準装着）すると、プリンタドライバの［両面印刷］機能から、用紙の両面に印刷することができます。両面印刷ユニットの装着方法は、以下を参照してください。

☞『操作編』（冊子）―「両面印刷ユニットの取り付け」

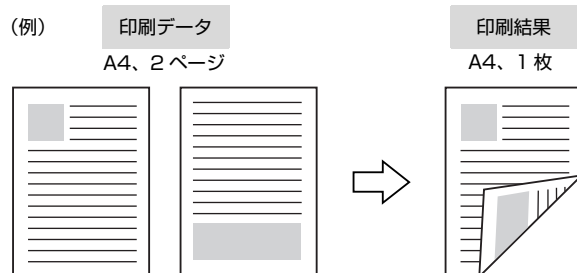
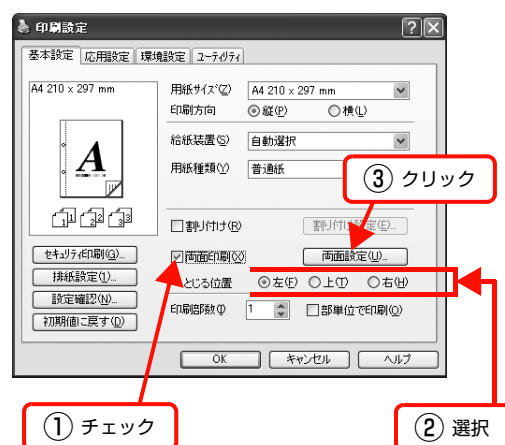
両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

☞『操作編』（冊子）―「用紙一覧と設定早見表」

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」

☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［とじる位置］を選択して［両面設定］をクリックします。**

2 **［両面印刷設定］画面で必要項目を設定します。**

［製本する］の詳細は、以下を参照してください。

☞ 本書 43 ページ「製本印刷」

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

製本印刷

プリンタドライバの［両面印刷］機能を使用すると、製本用にページを並べ替えた印刷ができます。両面に2ページずつ印刷されますので、二つ折りにしてとじるだけで簡単に冊子を作ることができます。

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

☞『操作編』（冊子）―「用紙一覧と設定早見表」

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

全ページまとめて二つ折り

ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りにできるときは、この方法で印刷します。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考

［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 ［全ページ］を選択します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

5 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

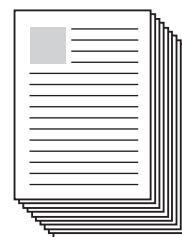
以上で終了です。

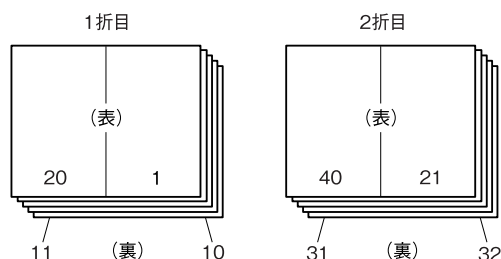
ページを分割して二つ折り

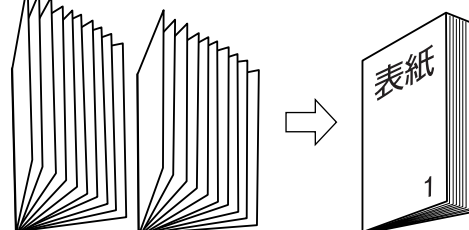
ページ数が多いときなどに、数枚ずつ分割して二つ折りにし、最後に 1 冊にまとめる方法です。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

以下に設定例を紹介します。

（例）　印刷データ

A4､40ページ

印刷結果

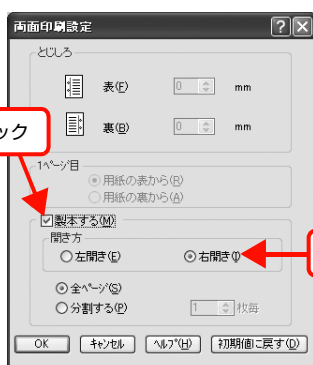
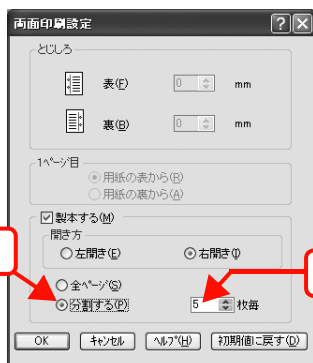
A4、10 枚に両面、割り付け 5 枚ずつ二つ折りにするようにページを並べ替え

仕上がり

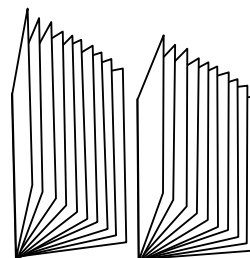
A5、40 ページ、右開きの冊子

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考

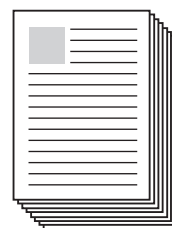
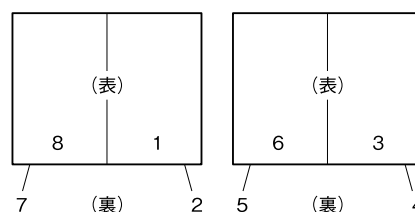
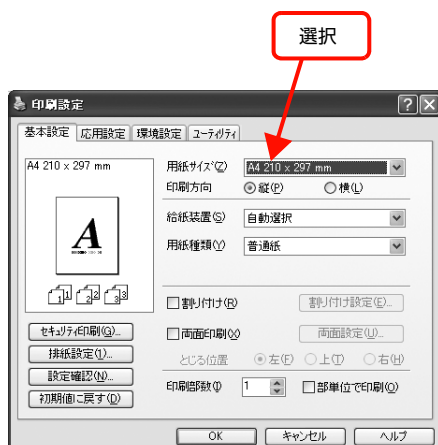
［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 ［分割する］を選択し、［5 枚毎］に設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

5 印刷された用紙を5枚1組にして重ね､それぞれを二つ折りにしてから重ねてとじます。

以上で終了です。

出力用紙サイズを指定

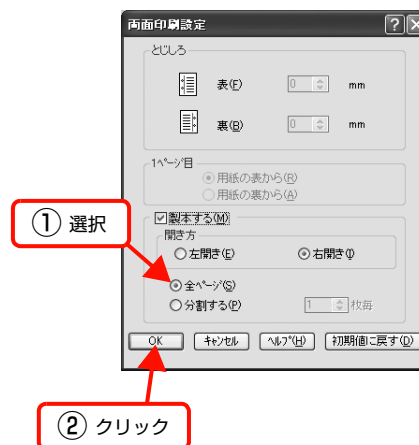
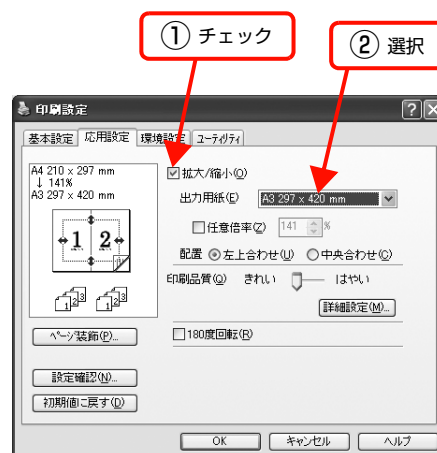
「拡大／縮小」機能を併用して、出力用紙サイズを設定できます。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A4］を選択します。

2 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

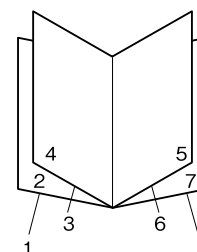
参考

［割り付け］や［とじる位置］の設定は、3 で製本印刷の設定をすると無効になります。

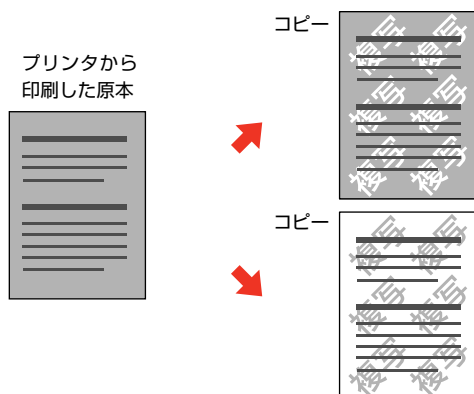
3 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

4 ［全ページ］を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。

5 ［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A3］を選択します。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

7 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

原本とコピーの区別(透かし印刷)

プリンタドライバの［透かし印刷］機能を使うと、印刷文書の背景に透かし文字が印刷できます。透かし文字が印刷された原本をコピーすると、埋め込まれている文字が浮き上がったように印刷され、原本との区別がつくようになります。不正コピーの抑制などに有効です。

！重要

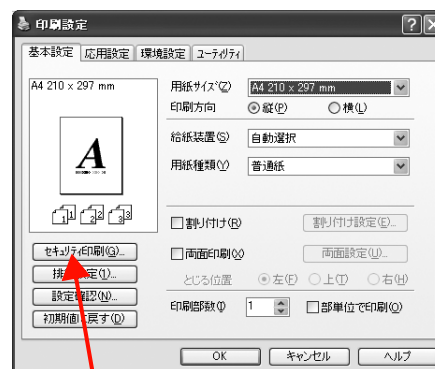
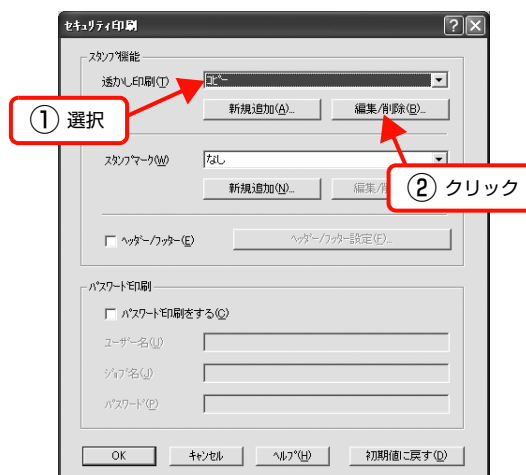
透かし印刷は、プリンタから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止自体を保証することはできません。
以下のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

- コピー機、ファクス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本機のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

透かし文字の種類は、プリンタドライバにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストが登録できます。
☞ 本書 48 ページ「透かし文字の登録」

透かし印刷の設定

設定方法は以下の通りです。
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。
☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面の［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面の［透かし印刷］で透かし文字を選択し、［編集 / 削除］をクリックします。**

3 ［透かし編集］画面で透かし文字のサイズや角度、配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

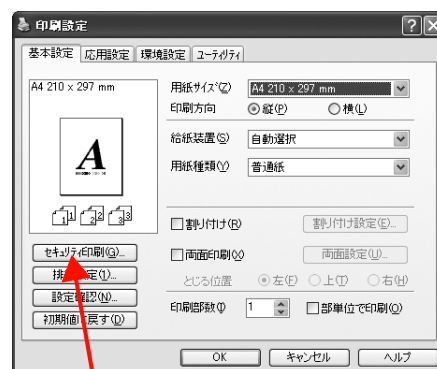
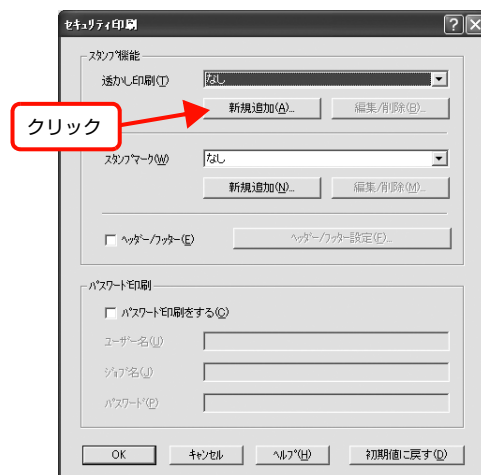
以上で終了です。

透かし文字の登録

任意のテキストを透かし文字として登録する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

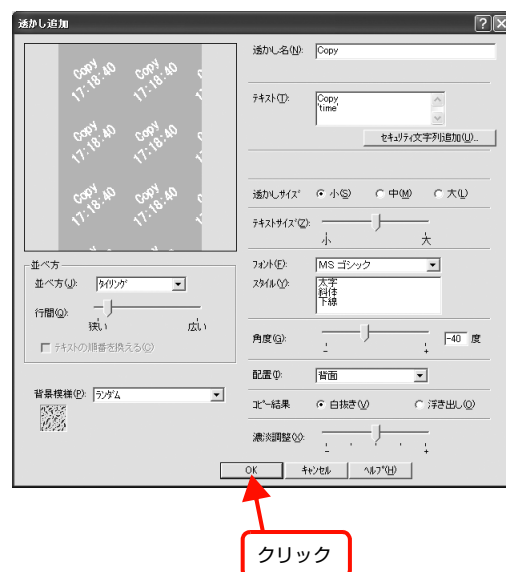
1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［透かし追加］画面で［透かし名］に任意の登録名を入力します。

4 ［テキスト］に登録したい文字を入力します。

［セキュリティ文字列追加］をクリックすると、ユーザー名やコンピュータ名、日付などが選択できます。

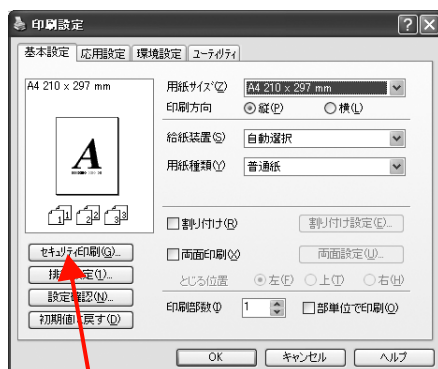
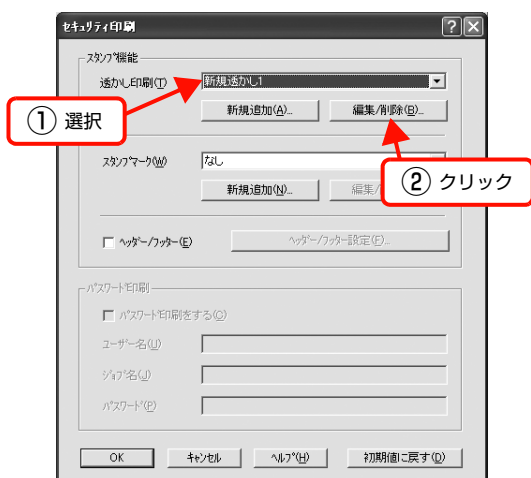
5 透かし文字のサイズや角度、配置などを設定します。

6 ［OK］をクリックして［透かし追加］画面を閉じます。

登録した透かし文字がリストに登録されます。

以上で終了です。

透かし文字の削除

登録した透かし文字の削除方法を説明します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［透かし印刷］から削除したい設定を選択し、［編集 / 削除］をクリックします。**

3 **［透かし編集］画面で［透かし名］に削除したい設定が表示されていることを確認し、［削除］をクリックします。**

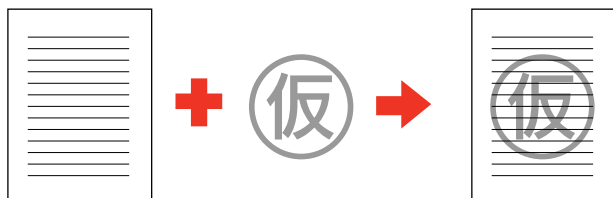
登録した任意の設定のみが削除できます。

4 **確認画面で［はい］をクリックします。**

登録した設定が削除されます。

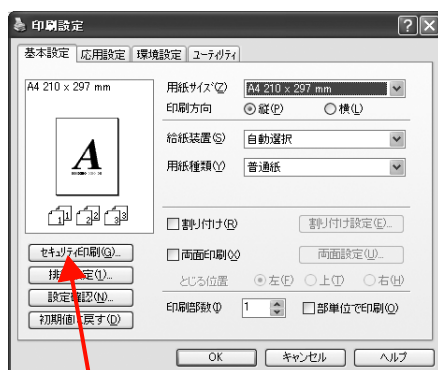
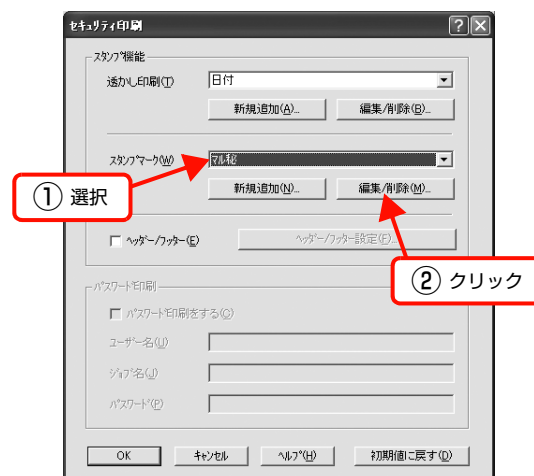
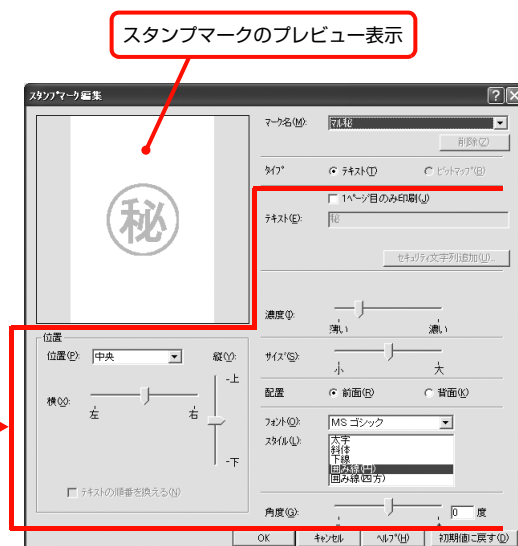
以上で終了です。

背景に文字や画像を印刷(スタンプマーク)

プリンタドライバの［スタンプマーク］機能を使うと、印刷文書の背景に「㊙」、「重要」、「㊖」などのスタンプマークを重ねて印刷できます。手作業でスタンプを押すなどの手間が省けて便利です。

スタンプマークの種類は、プリンタドライバにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストまたはビットマップ画像（BMP）が登録できます。
☞ 本書 52 ページ「テキストマークの登録」
☞ 本書 54 ページ「ビットマップマークの登録」

スタンプマークの設定

設定方法は以下の通りです。
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。
☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面の［スタンプマーク］でスタンプマークを選択し、［編集 / 削除］をクリックします。

3 ［スタンプマーク設定］画面でスタンプマークのサイズや濃度、配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

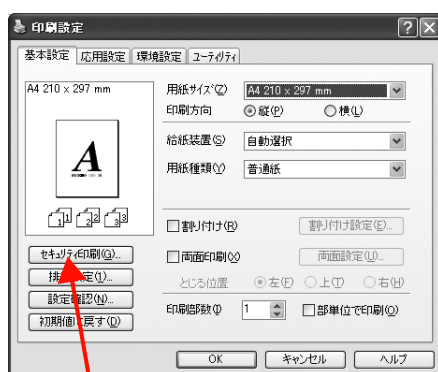
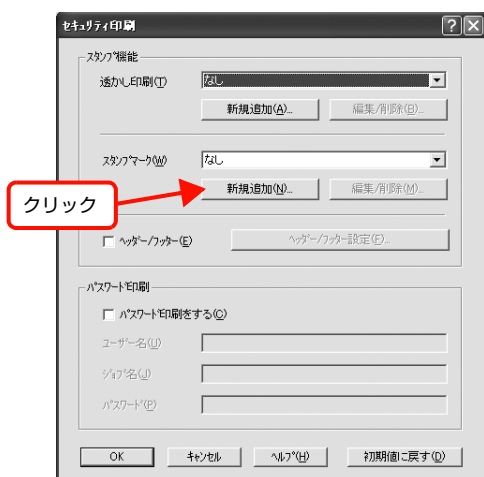
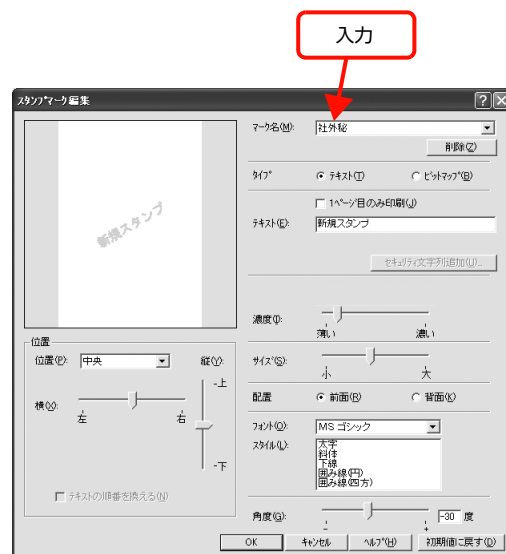
以上で終了です。

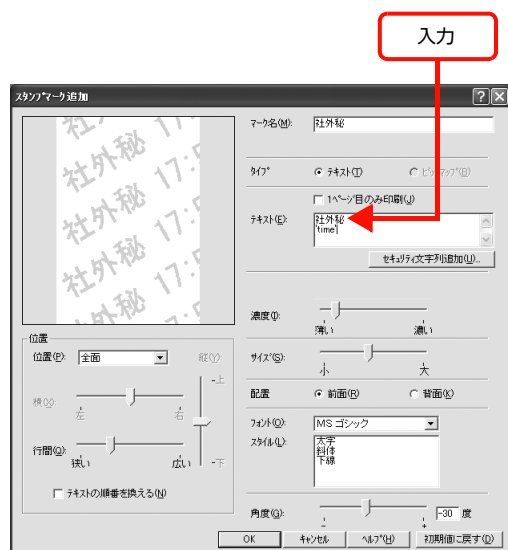
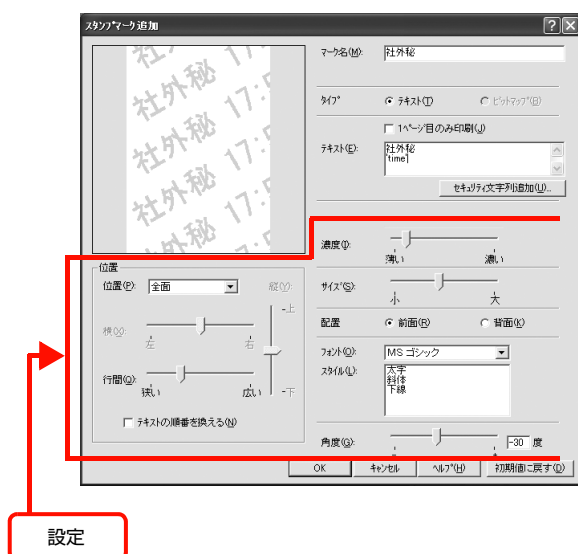
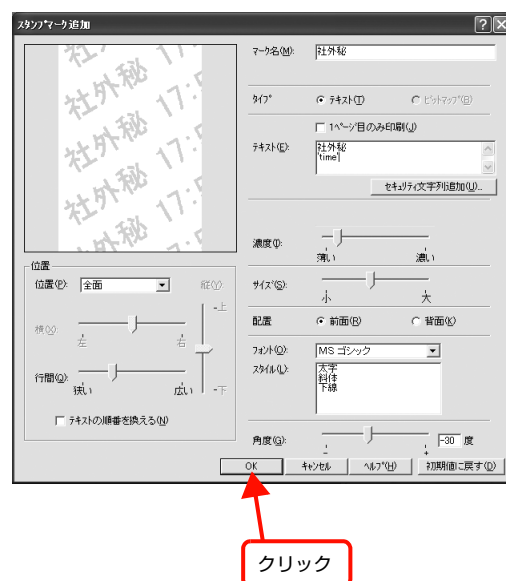
テキストマークの登録

任意のテキストをスタンプマークとして登録する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［スタンプマーク追加］画面で［マーク名］に任意の登録名を入力します。

4 ［タイプ］から［テキスト］を選択します。

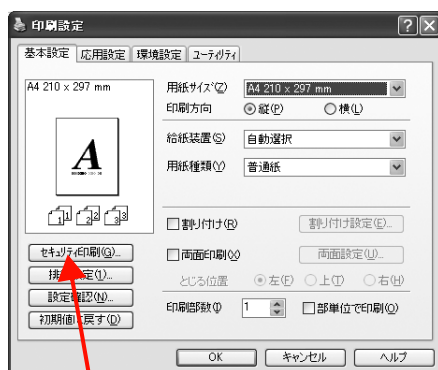
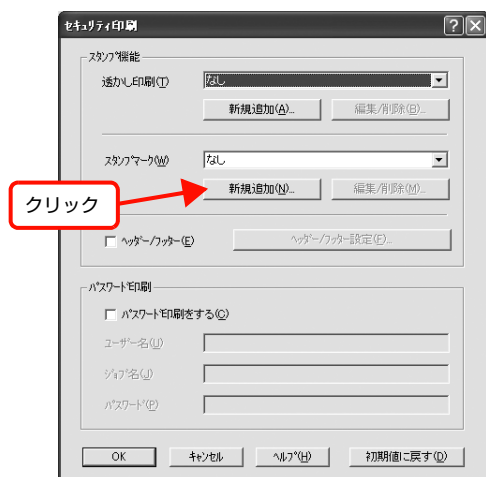
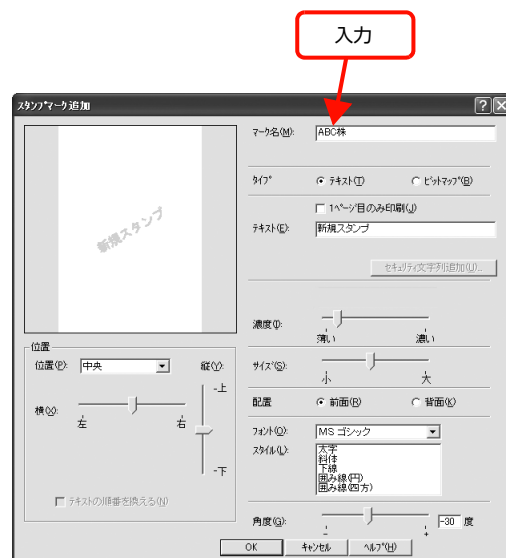
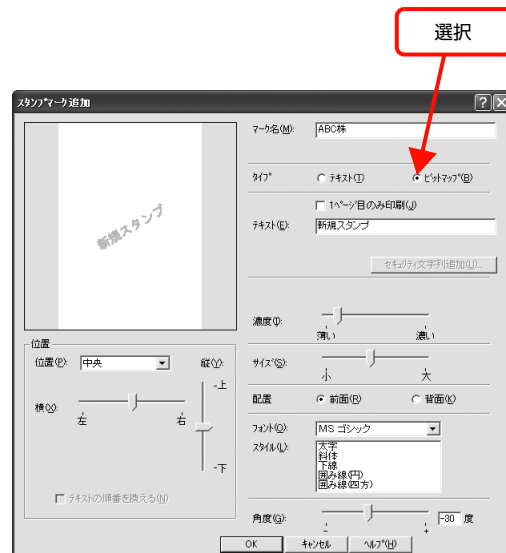
5 **［テキスト］に登録したい文字を入力します。**
［位置］で［全面］を選択すると、［セキュリティ文字列追加］が有効になり、ユーザー名やコンピュータ名、日付などが選択できます。

6 **テキストマークのサイズや濃度、配置などを設定します。**

7 **［OK］をクリックして［スタンプマーク追加］画面を閉じます。**
登録したテキストマークがリストに登録されます。

以上で終了です。

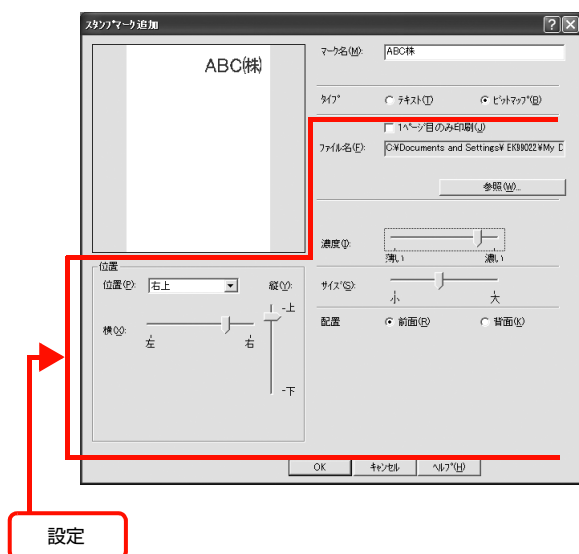
ビットマップマークの登録

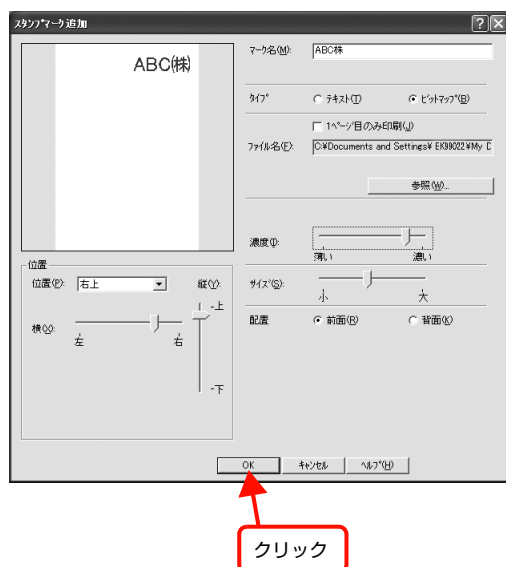
任意のビットマップ画像（BMP）をスタンプマークとして登録する方法を説明します。あらかじめ、スタンプマークとして使用したい BMP 形式の画像を用意してください。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［新規追加］をクリックします。

3 ［スタンプマーク追加］画面で［マーク名］に任意の登録名を入力します。

4 ［タイプ］から［ビットマップ］を選択します。

5 登録する BMP ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

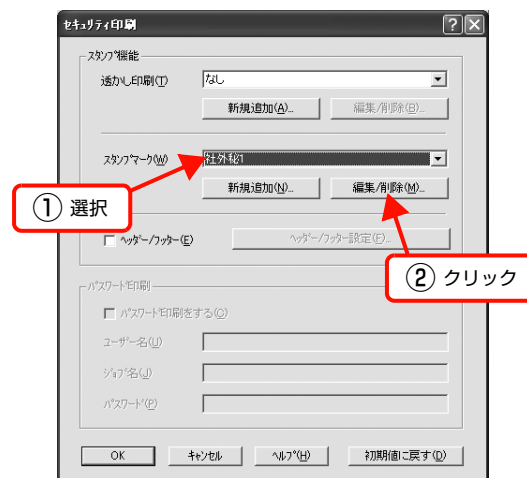
6 ビットマップマークのサイズや配置などを設定します。

7 [OK] をクリックして [スタンプマーク追加] 画面を閉じます。

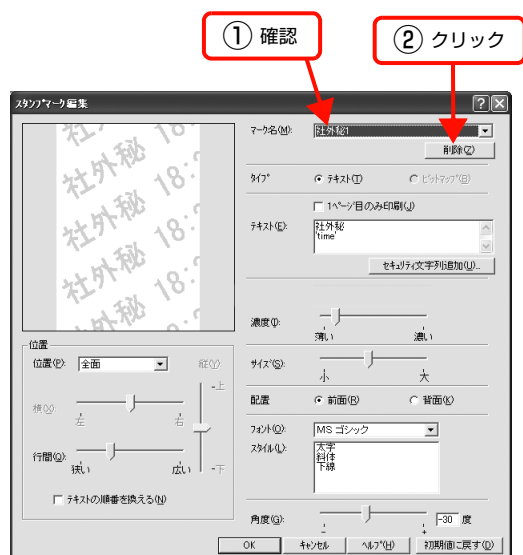
登録したビットアップマークがリストに登録されます。

以上で終了です。

マークの削除

登録したテキストマークとビットマップマークの削除方法を説明します。

1 プリンタドライバの [基本設定] 画面で [セキュリティ印刷] をクリックします。

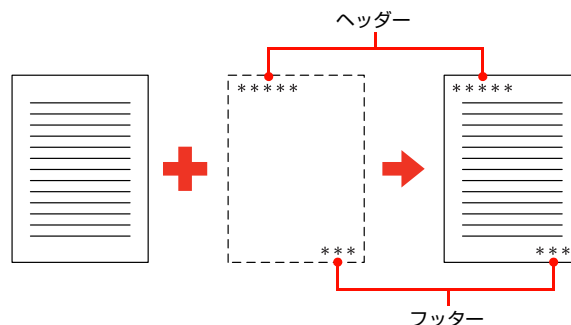
2 [セキュリティ印刷] 画面で [スタンプマーク] から削除したい設定を選択し、[追加 / 削除] をクリックします。

3 [マーク名]に削除したい設定が表示されていることを確認して［削除］をクリックします。

参考
登録した任意の設定のみが削除できます。

4 確認画面で［はい］をクリックします。

登録した設定が削除されます。

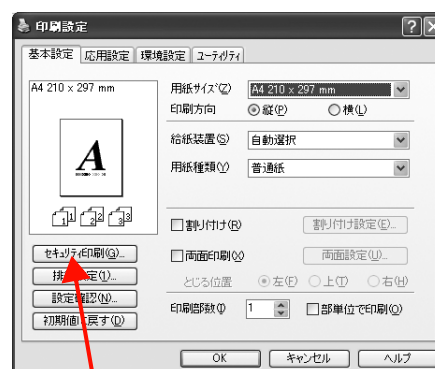
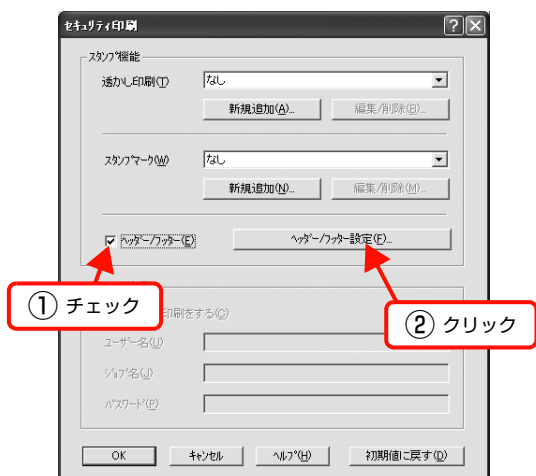
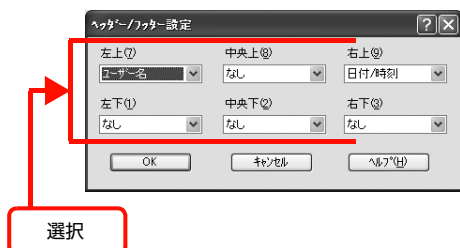
以上で終了です。

ヘッダー/ フッター印刷

プリンタドライバの［ヘッダー / フッター］機能を使うと、印刷文書にヘッダーまたはフッターとして、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時、ページなどが印刷できます。

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows : 本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X : 本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 **[セキュリティ印刷] 画面で [ヘッダー / フッター] をチェックし、[ヘッダー / フッター設定] をクリックします。**

3 **[ヘッダー / フッター] 画面で印刷する項目を選択します。**

4 **[OK] をクリックして、印刷を実行します。**

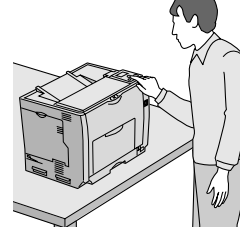
[セキュリティ印刷] 画面と [基本設定] 画面も、[OK] をクリックしてください。

以上で終了です。

印刷ジョブにパスワードを設定

パスワード印刷を行う際は、メモリの増設が必要です。
☞『操作編』(冊子)-「メモリ/ROM/コンパクトフラッシュ」

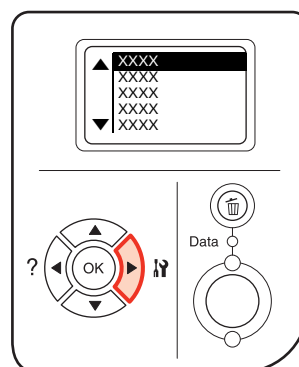
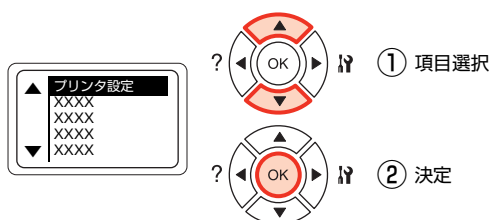
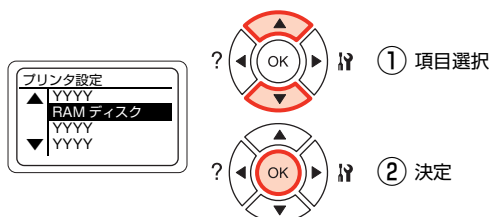
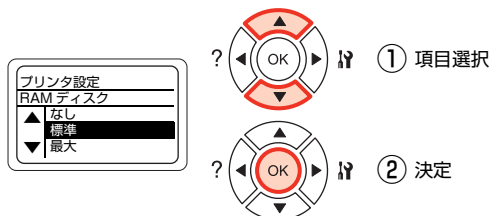
印刷ジョブにパスワードを設定すると、プリンタドライバの [パスワード印刷] が使用できます。印刷を実行すると印刷ジョブは一旦プリンタのメモリ (RAM ディスク *) またはコンパクトフラッシュに保存され、操作パネルでパスワードを入力すると出力されます。不特定多数でプリンタを共同使用している場合でも、他人の目に触れることなく文書を印刷することができます。印刷が終了するとパスワード印刷ジョブはメモリから削除されます。

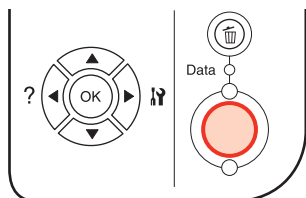
＊ プリンタに増設しているメモリの一部、またはすべてをパスワード印刷ジョブを保存するために利用します。

! 重要

以下の状態にあるデータは保護されません。
- 通信経路上にあるデータ
- プリンタの RAM ディスクまたはコンパクトフラッシュに一時的に保存されているデータ
- 印刷されないパスワード印刷ジョブは、本機の電源再投入時やリセットオールでメモリまたはコンパクトフラッシュから削除されます。

RAM ディスクの設定

パスワード印刷をするには、プリンタ側にパスワード印刷ジョブを保存するための RAM ディスクの設定が必要です。操作パネルで RAM ディスクの設定をしてください。ただし、コンパクトフラッシュを装着しているときは設定できません。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 ［プリンタ設定］を選択します。

3 ［RAM ディスク］を選択します。

4 ［標準］または［最大］を選択します。

設定値の説明は以下を参照してください。
『操作編』（冊子）―「［プリンタ設定］メニュー」

5 【印刷可】ボタンで終了します。

6 プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［リセット メニュー］から［リセットオール］を実行します。

設定内容が有効になります。
続いてプリンタドライバの設定をします。

Windows の場合

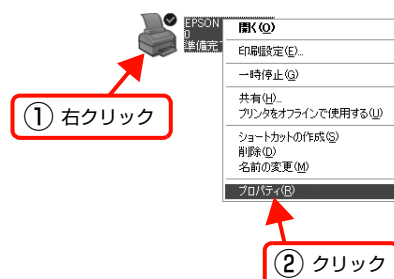
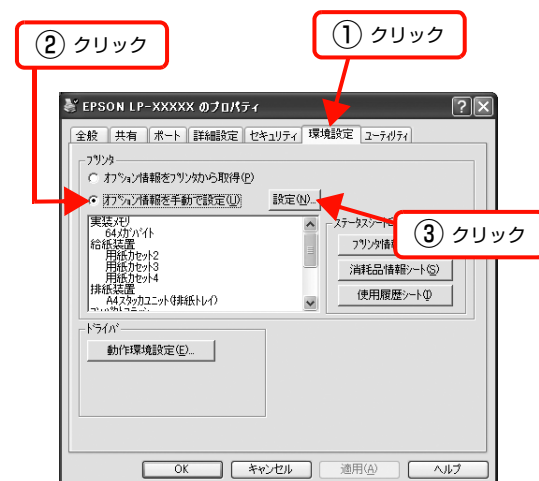
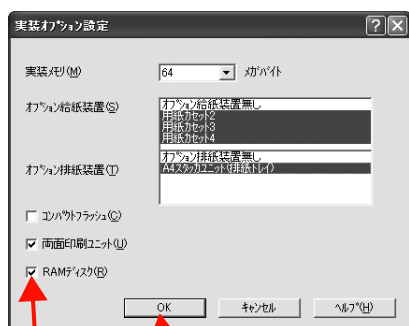
58 ページの 6 に続いて以下の作業を行ってください。

7 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista/Windows Server 2008：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

8 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

9 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

10 **[RAM ディスク](コンパクトフラッシュを装着しているときは［コンパクトフラッシュ］）にチェックをして［OK］をクリックします。**

以上で終了です。

Mac OS X の場合

58 ページの 6 に続いて［プリントとファクス］（Mac OS X v10.5.x）またはプ リンタ設定ユーティリティ（Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x）を開き、本機を追加し直すか、EPSON ステータスモニタを起動すると、情報が更新されます。

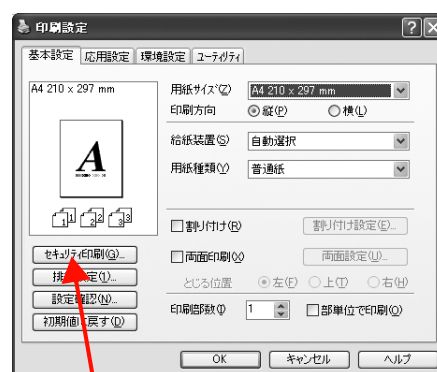
以上で終了です。

パスワードの設定

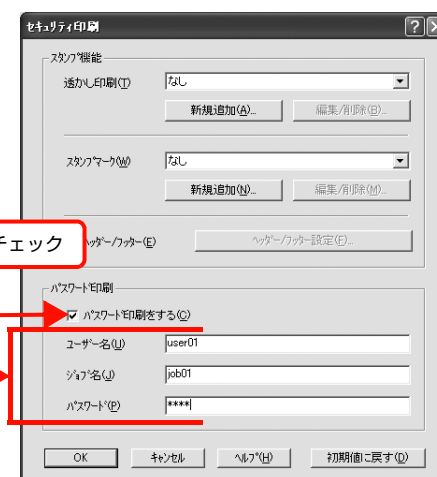
プリンタドライバで、印刷ジョブにパスワードを設定する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面の［パスワード印刷をする］をチェックし、任意の［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］を入力します。**

［ユーザー名］、［ジョブ名］、［パスワード］は、パスワード印刷のジョブ識別情報になります。必ず入力してください。

- ユーザー名：半角英数 14 文字（全角 7 文字）以内
- ジョブ名：半角英数 14 文字（全角 7 文字）以内
- パスワード：半角数字（0 ～ 9）4 桁

参考
未入力で印刷すると、自動的に［ユーザー名］（Windows のログインユーザー名）と［パスワード］（1234）が設定されることがあります。
ただし、
- お使いの環境によっては Windows のログインユーザー名ではないユーザー名になることがあります。
- 半角英数 14 文字（全角 7 文字）を超えるユーザー名は切り捨てて表示されます。
- 情報が取得できなかったときは［ユーザー名］が［EpsonUser］に設定されます。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

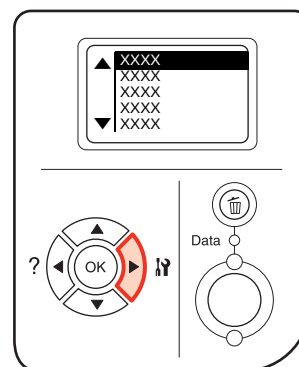
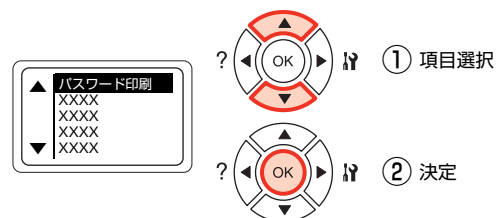
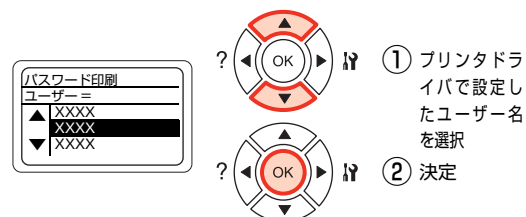
印刷を実行すると、プリンタの RAM ディスクにデータが保存されます。印刷はされません。
印刷方法は以下を参照してください。
本書 60 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷」

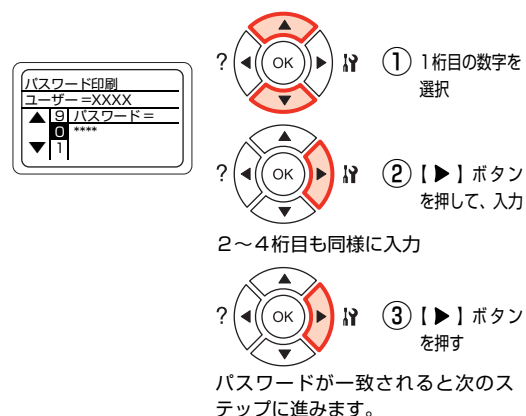
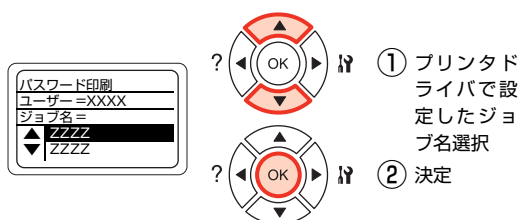
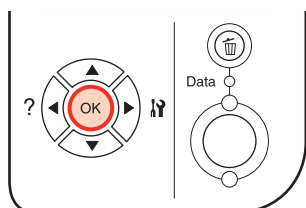
以上で終了です。

パスワード印刷ジョブの印刷

プリンタドライバでパスワードを設定した印刷ジョブを、印刷する方法を説明します。

1 操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されていることを確認します。

2 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

3 ［パスワード印刷］を選択します。

4 ユーザー名を選択します。

5 パスワードを入力します。

プリンタドライバで設定したパスワードを入力してください。

6 全ジョブまたはジョブ名を選択します。

7 印刷を実行します。

以上で終了です。

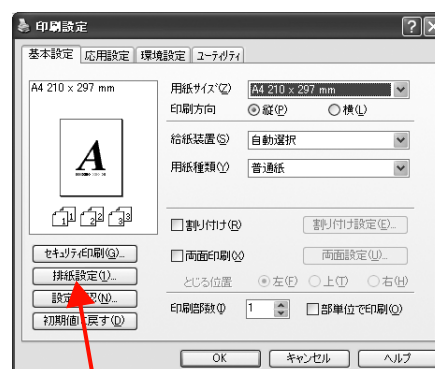
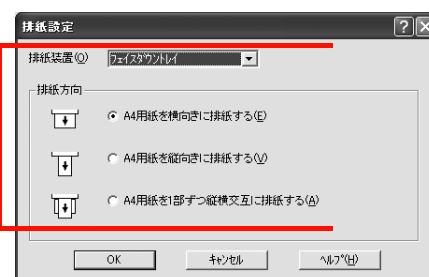
パスワード印刷ジョブの削除

プリンタのメモリ（RAM ディスク）に保存されたパスワード印刷ジョブは、以下のときに削除されます。

- 印刷したとき（ジョブごと）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき（ジョブごと）
- 印刷しないで本機の電源を切ったとき（すべてのジョブ）
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（すべてのジョブ）

排紙設定

プリンタドライバの［排紙設定］で、各給紙装置にセットした用紙の向きに合わせて排紙する設定を説明します。この機能は A4 のみ対応。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［排紙設定］をクリックします。

2 ［排紙設定］画面で、排紙装置や排紙方向を選択します。

・［排紙装置］

［フェイスダウントレイ］	標準のフェイスダウントレイに排紙します。
［スタッカトレイ］	オプションのスタッカトレイに排紙します（オプションのスタッカユニットを装着しているときのみ選択可能）。 スタッカトレイに排紙できる用紙サイズと用紙種類は以下のとおりです。 • 用紙サイズ：A4/A5/B5/LT/HLT/GLT/EXE • 用紙種類：普通紙 / 厚紙、または［用紙種類］の［トレイ・カセット用紙タイプ］で、指定しない / 普通紙 / レターヘッド / 再生紙 / 印刷済み / 色つきのいずれかを選択したとき

・[排紙方向]

[A4用紙を横向きに排紙する]	印刷した A4 用紙を横向きに排紙します。
[A4用紙を縦向きに排紙する]	印刷した A4 用紙を縦向きに排紙します。
[A4用紙を 1 部ずつ縦横交互に排紙する]	複数部印刷するときに、印刷した A4 用紙を 1 部ずつ縦横交互に排紙します。

アプリケーションソフトによっては、縦横交互排紙できないものがあります。

以上で終了です。

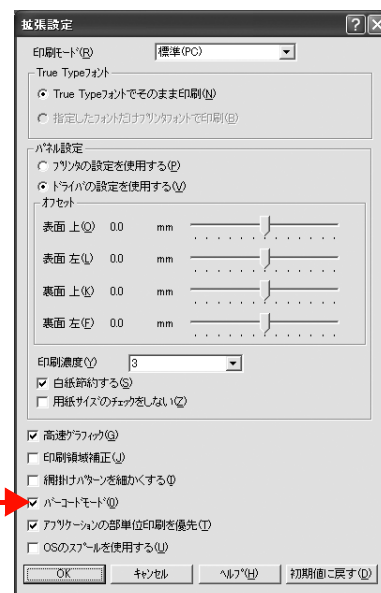
バーコードを鮮明に印刷(バーコードモード)

プリンタドライバの［拡張設定］画面で［バーコードモード］にチェックを付けると、バーコードがより鮮明に印刷できます（Windows のみ）。

！重要

バーコードの読み取り精度は、用紙種類やバーコードリーダーの種類に依存するため、必ず事前検証を行うようお願い致します。

［バーコードモード］にチェックを付けたときは、両面印刷ができません。

1 [拡張設定] 画面の [バーコードモード] にチェックを付けてください。

2 ［ＯＫ］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

DOS 環境での印刷

本機を DOS アプリケーションソフトで使用する場合、プリンタドライバをインストールする必要はありません。

プリンタ機種名の選択

DOS アプリケーションソフトの場合、お使いのアプリケーションソフト上でプリンタの機種名を選択することにより、そのプリンタが使用可能になります。設定項目の名称や設定方法は、お使いのアプリケーションソフトにより異なりますが、多くの場合［プリンタ名の選択・設定］、［プリンタ設定］などで機種名を選択するようになっています。詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本機の機能を 100%利用できない場合があります。また、プリンタの初期設定（購入時の設定のまま）で正しく印刷されない場合、操作パネルの設定を変更することによって対応することが可能です。

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

1 **DOS アプリケーションソフトを起動します。**

2 **DOS アプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。**
お使いの DOS アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3 **お使いのプリンタの機種名を選択します。**
お使いのプリンタの機種名がない場合は、次の優先順位で機種名を選択します。

ESC/Page プリンタが選択できる場合	
1	LP-9200/9200S/9200SX
2	LP-8400/8300/8300S/8200
3	LP-9000
4	LP-1800/1700/1700S
5	LP-1600
6	LP-8500/8000/8000S/8000SE/8000SX
7	ESC/Page
8	LP-1500/1500S/2000/3000
9	LP-7000/7000G

ESC/Page プリンタが選択できない場合	
1	ESC/P-24-J84*1*2
2	VP-1000/4800/3000*1*2
3	ESC/P-24-J83*1*2
4	VP-135K/130K*1*2
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201H などのプリンタを選択します。*1*3

思うように印刷できない場合は、操作パネルの設定モードで以下の設定を行ってください。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

『操作編』（冊子）―「操作パネルの使い方」

*1 1 行目の印刷位置が上すぎる場合は、［給紙位置］を［22mm］に設定してください。
半角の記号がカタカナになる場合は、［文字コード］を［グラフィックス］に設定してください。

*2 画面とは違う文字を印刷するなど正しく印刷されないときは、［プリンタモード］を［ESC/P］に設定してください。

*3 PC-PR201H を選択した場合、［プリンタモード］を［ESC/PS］に設定しないと印刷できません。

［プリンタモード］は基本的に［自動］（初期設定）に設定して使用してください。画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合のみ設定を変更してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版アプリケーションソフトを使用する場合は、次の優先順位で機種名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

以下のように正しく印刷できない場合は、操作パネルの設定モードで設定してください。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞『操作編』（冊子）－「操作パネルの使い方」

- 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、［プリンタモード］を［ESC/P］に設定してください。
- 半角の記号がカタカナになる場合は、操作パネルで［文字コード］を［グラフィックス］に設定してください。
- １行目の印刷位置が上すぎる場合は、［給紙位置］を［22mm］に設定してください。

アプリケーションソフトに関するお問い合わせはアプリケーションソフトの販売元または開発元にお問い合わせください。

印刷の手順

1 レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや向き、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションで設定できないときは、操作パネルの設定モードで設定します。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞『操作編』（冊子）－「操作パネルの使い方」

設定する項目	設定方法
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度

3 印刷を実行します。

アプリケーションソフトから印刷を実行します。

索引

ふ

へ

ゆ

り

わ